

秋田県沖合域の水温状況 (平成27年4月)

漁業調査指導船「千秋丸」により4月8～9日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

表 層(2ページ) 「やや低い」～「やや高い」水温です。

50 m層(3ページ) 「かなり低い」～「かなり高い」水温です。

100m層(4ページ) 「はなはだ低い」～「かなり高い」水温です。

200m層(5ページ) 「かなり低い」～「かなり高い」水温です。

300m層(6ページ) 「平年並み」～「はなはだ高い」水温です。

0～200m帯で、St.8、St.9に冷水域が認められました。

また、沿岸域の水深50mと300m帯で、暖水域が認められました。

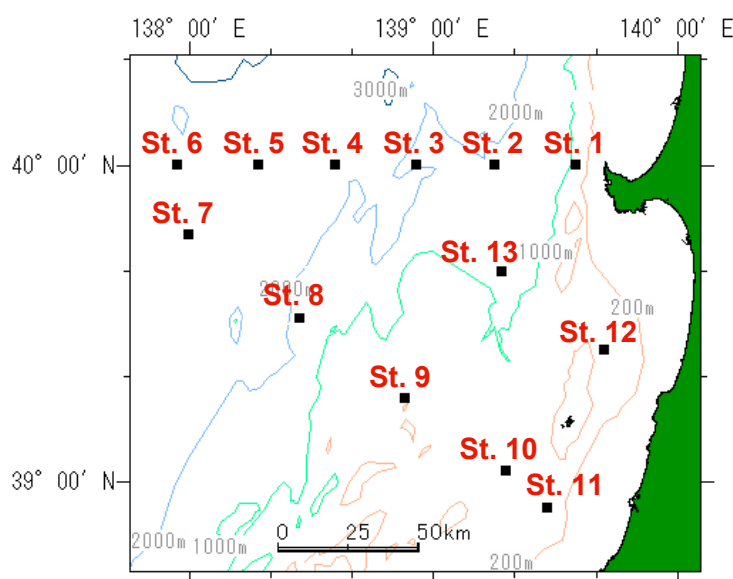


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
かなり高い	+130以上200未満	(出現確率:約10年に1回)
やや高い	+60以上130未満	(出現確率:約4年に1回)
平年並み	±60未満	(出現確率:約2年に1回)
やや低い	-60以上130未満	(出現確率:約4年に1回)
かなり低い	-130以上200未満	(出現確率:約10年に1回)
はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
平年値:1981～2010年までの平均値

<表層>

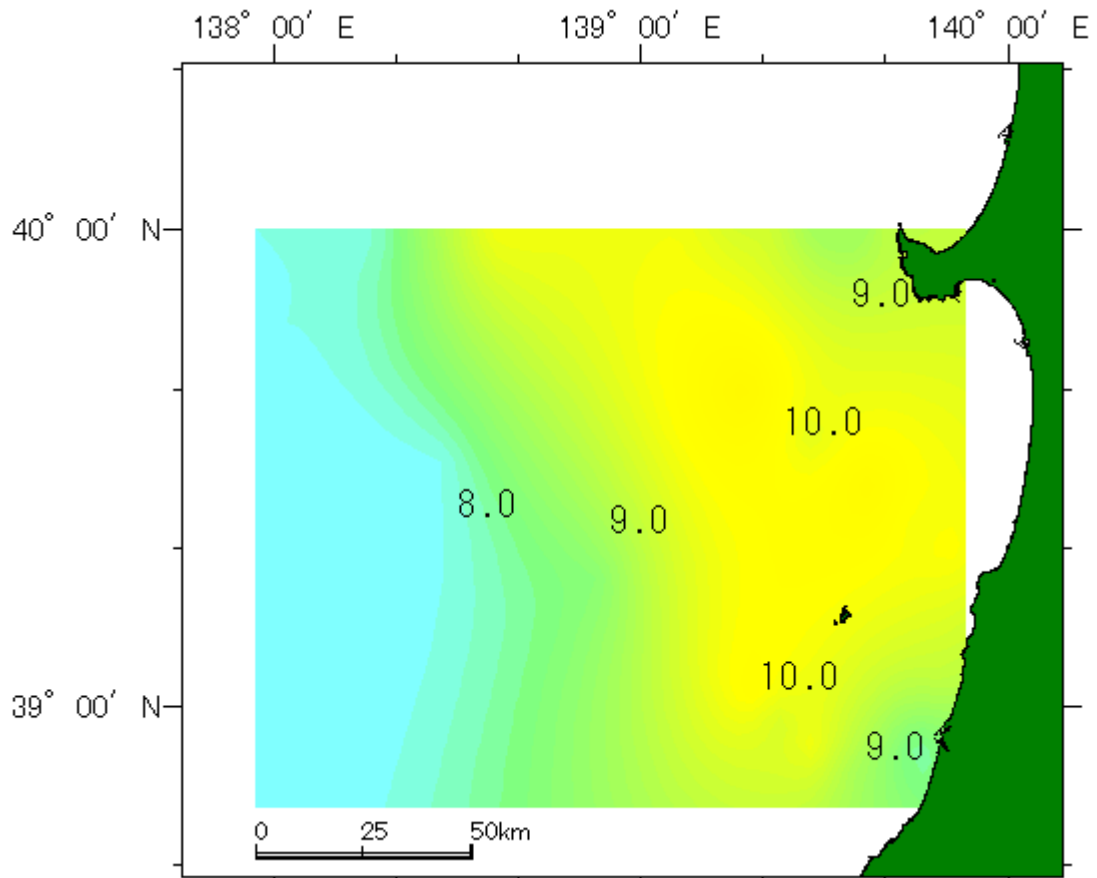


図2 表層の水温分布

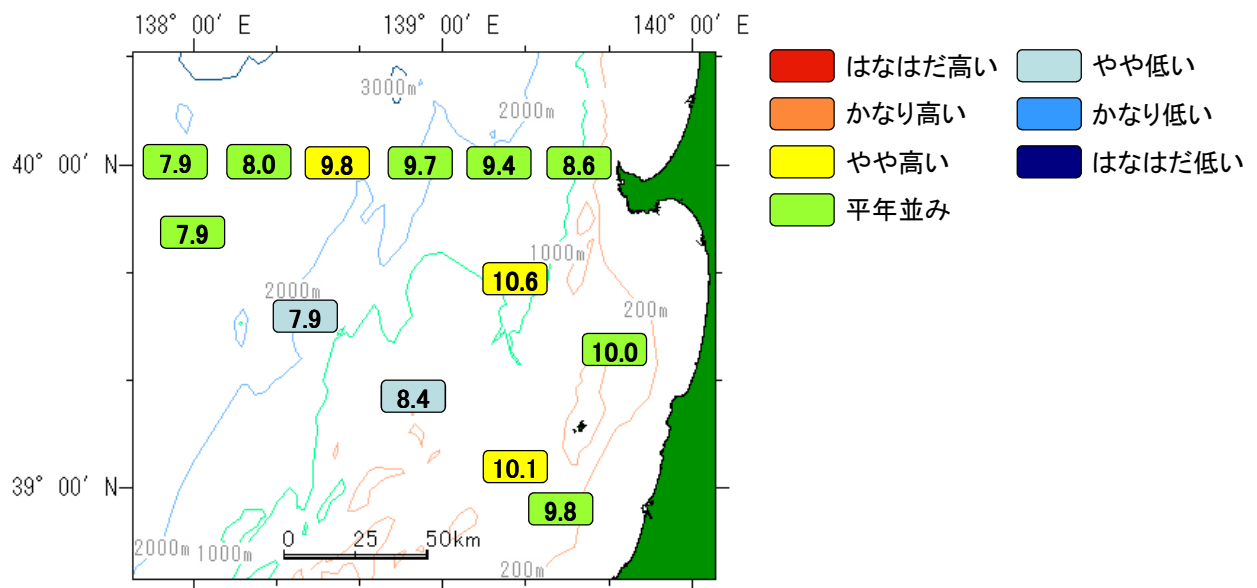


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

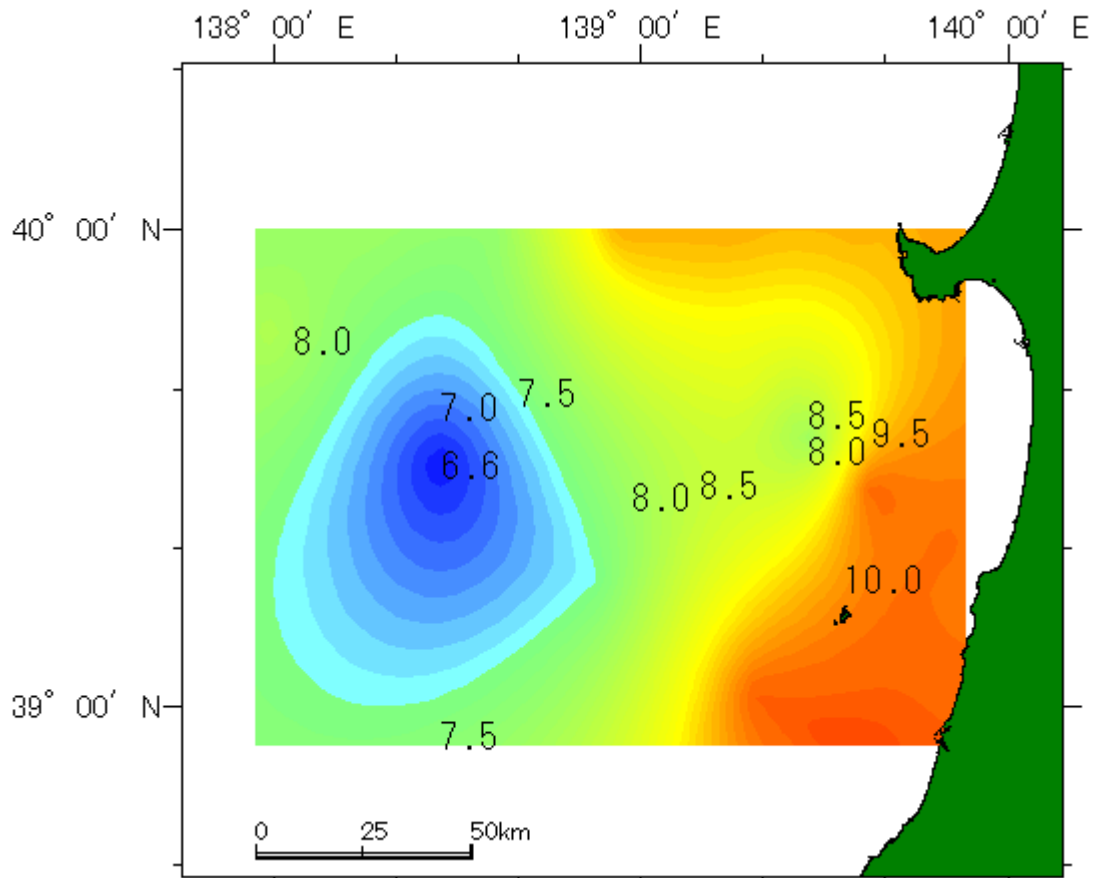


図4 水深50m層の水温分布

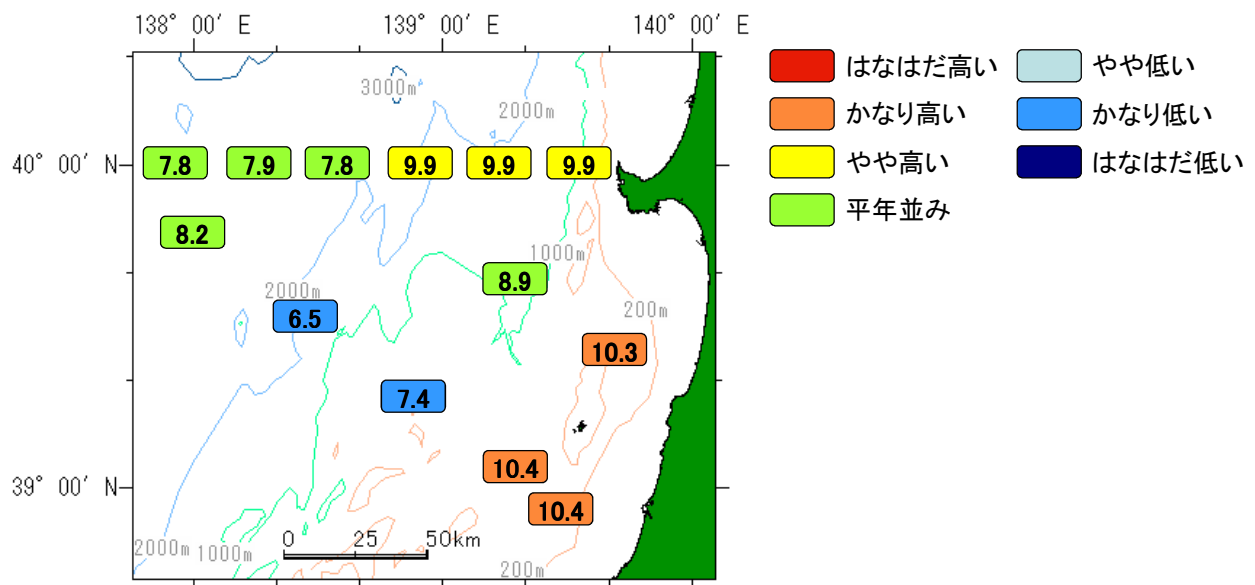


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

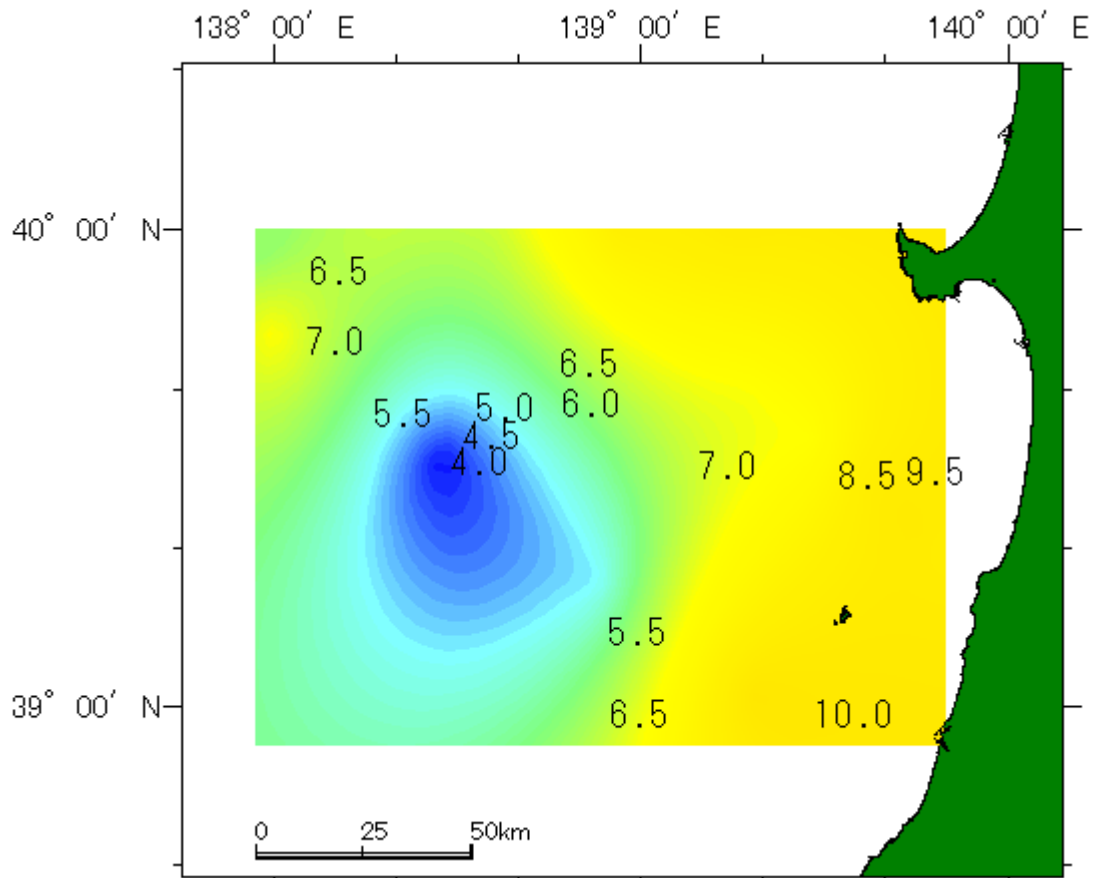


図6 水深100m層の水温分布

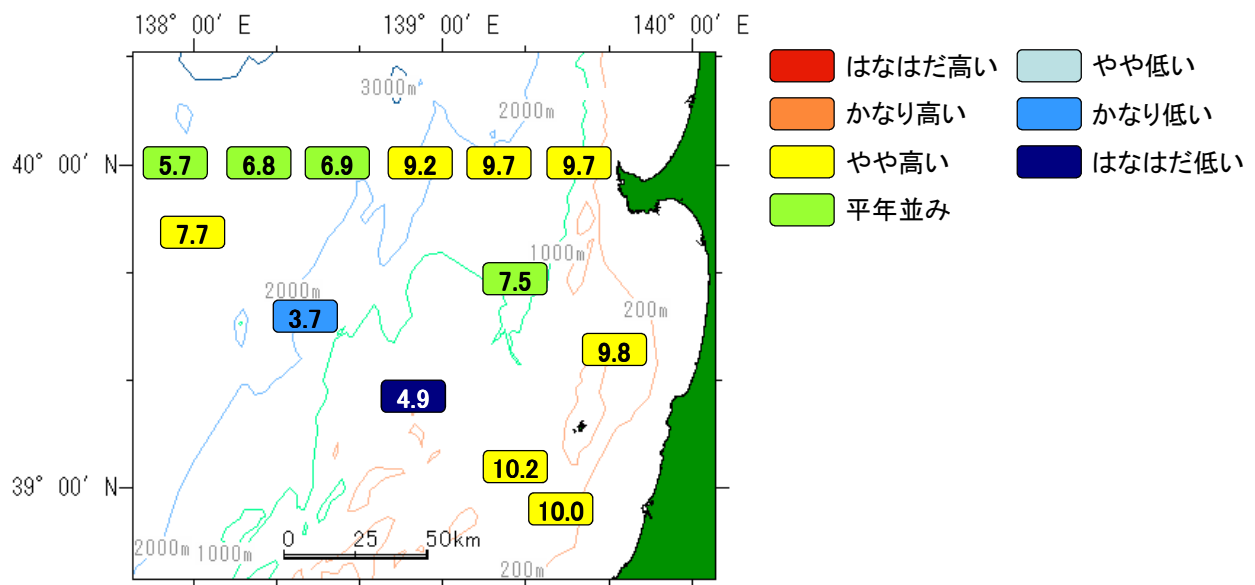


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

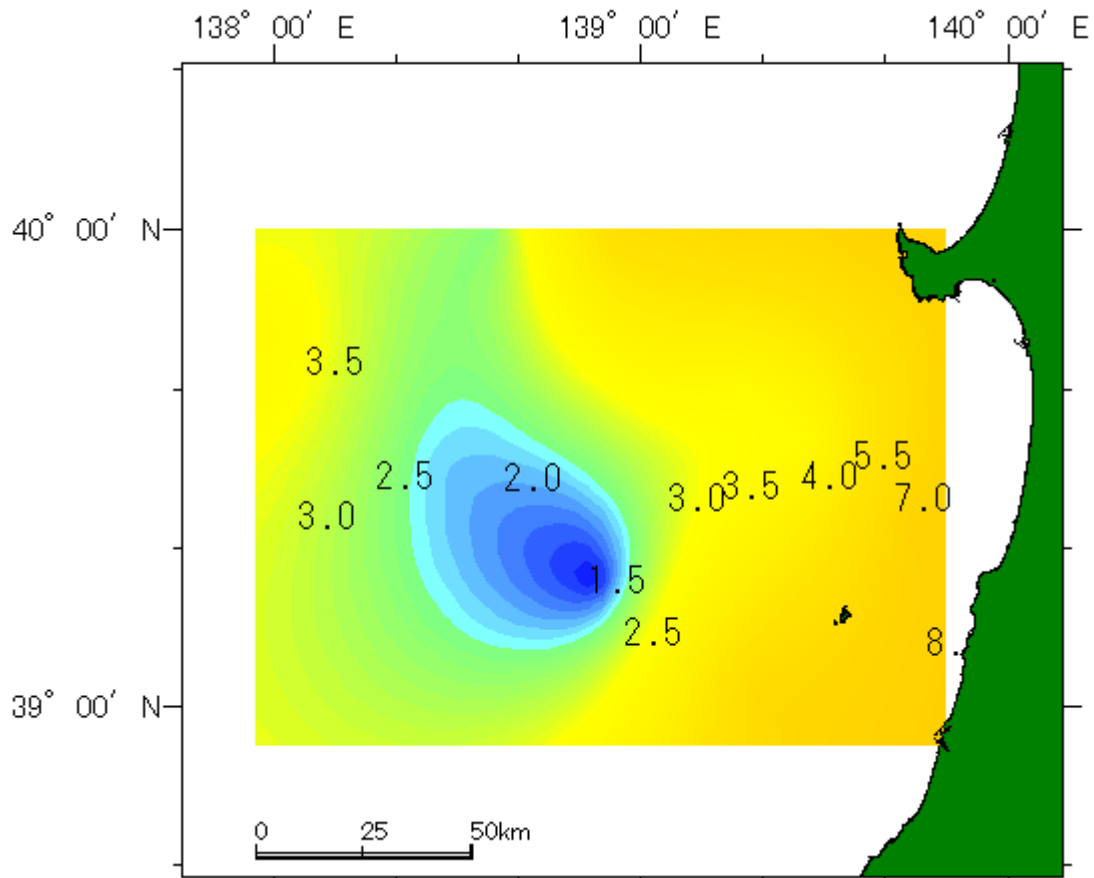


図8 水深200m層の水温分布

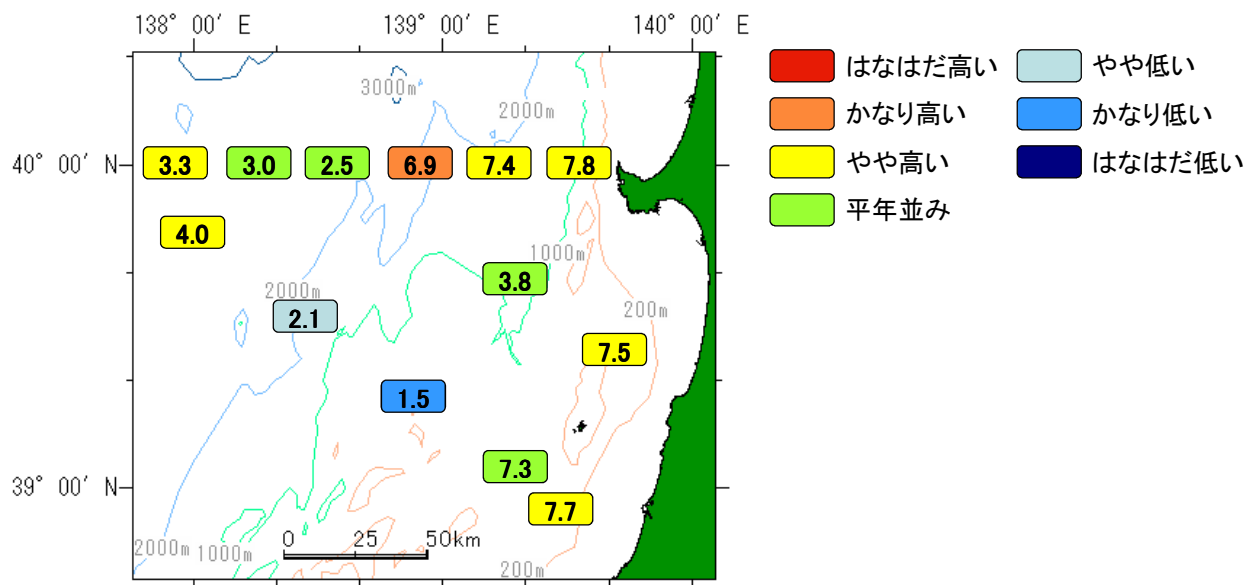


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

<300m層>

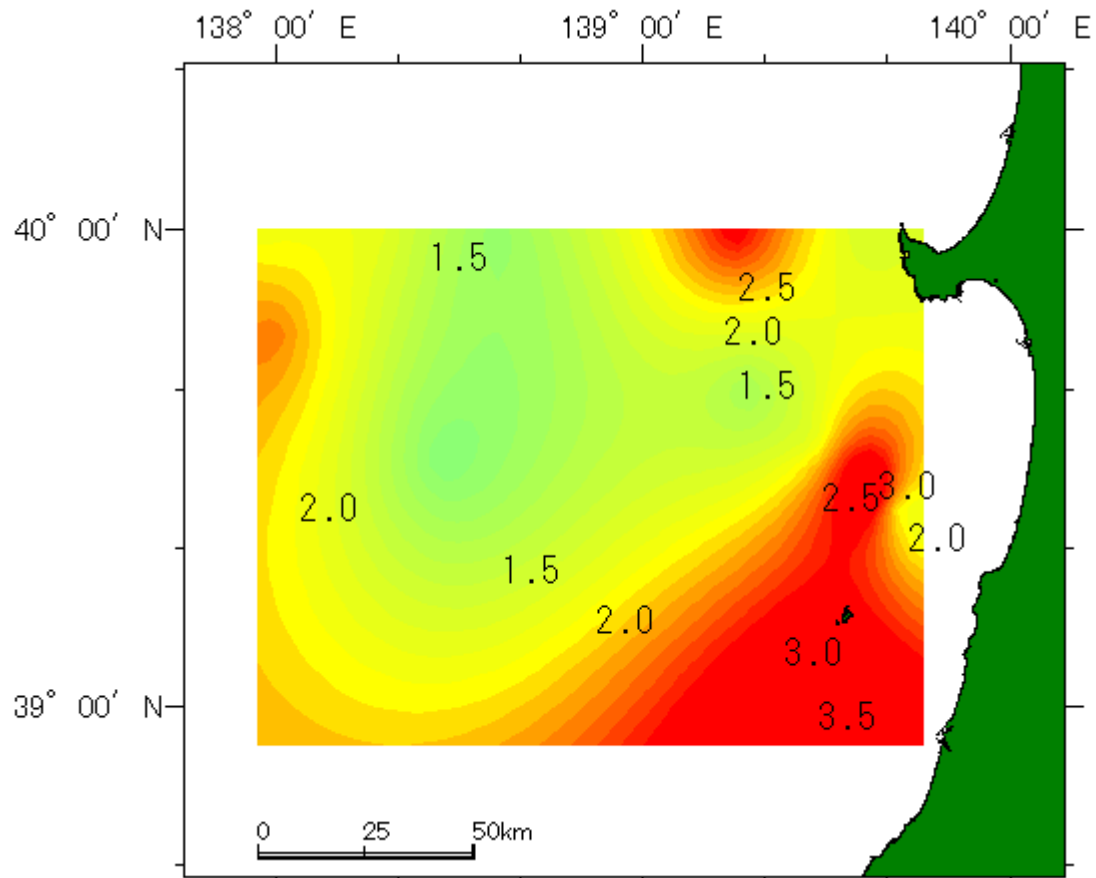


図10 水深300m層の水温分布

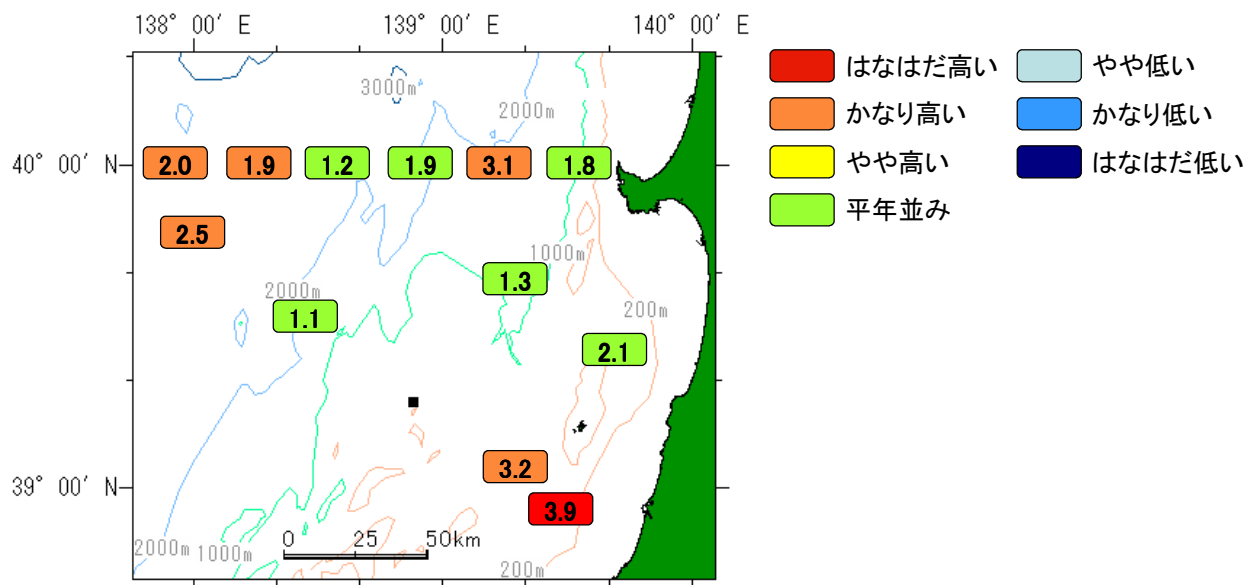


図11 水深300m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成27年5月)

漁業調査指導船「千秋丸」により4月30～5月1日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

表 層(2ページ) 「かなり高い」～「はなはだ高い」水温です。

50 m層(3ページ) 「平年並み」～「やや高い」水温です。

100m層(4ページ) 「平年並み」～「やや高い」水温です。

200m層(5ページ) 「やや低い」～「平年並み」水温です。

300m層(6ページ) 「平年並み」～「かなり高い」水温です。

St.2およびSt.3の50～300m帯で冷水域が認められました。

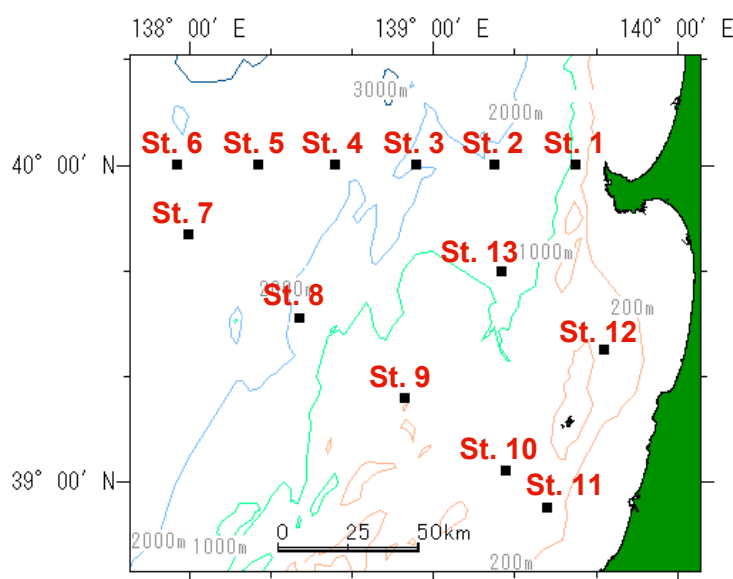


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
かなり高い	+130以上200未満	(出現確率:約10年に1回)
やや高い	+60以上130未満	(出現確率:約4年に1回)
平年並み	±60未満	(出現確率:約2年に1回)
やや低い	-60以上130未満	(出現確率:約4年に1回)
かなり低い	-130以上200未満	(出現確率:約10年に1回)
はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
平年値:1981～2010年までの平均値

<表層>

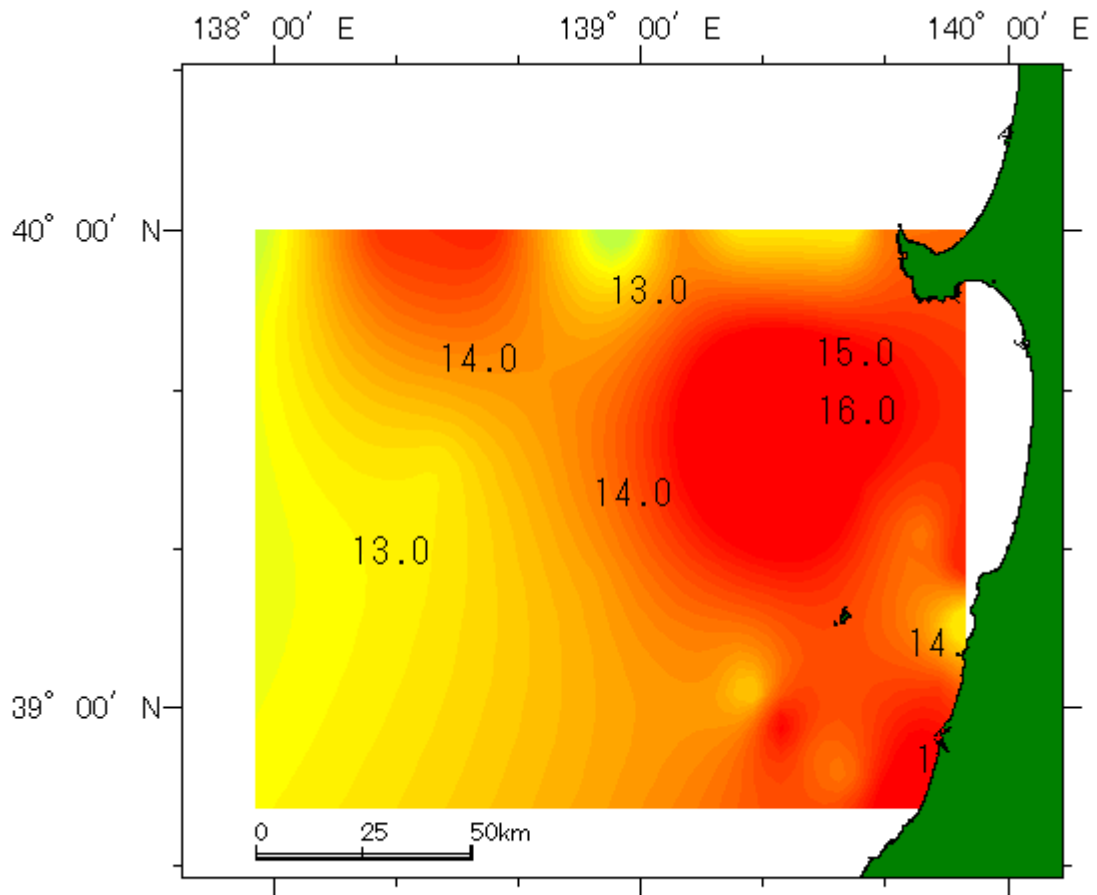


図2 表層の水温分布

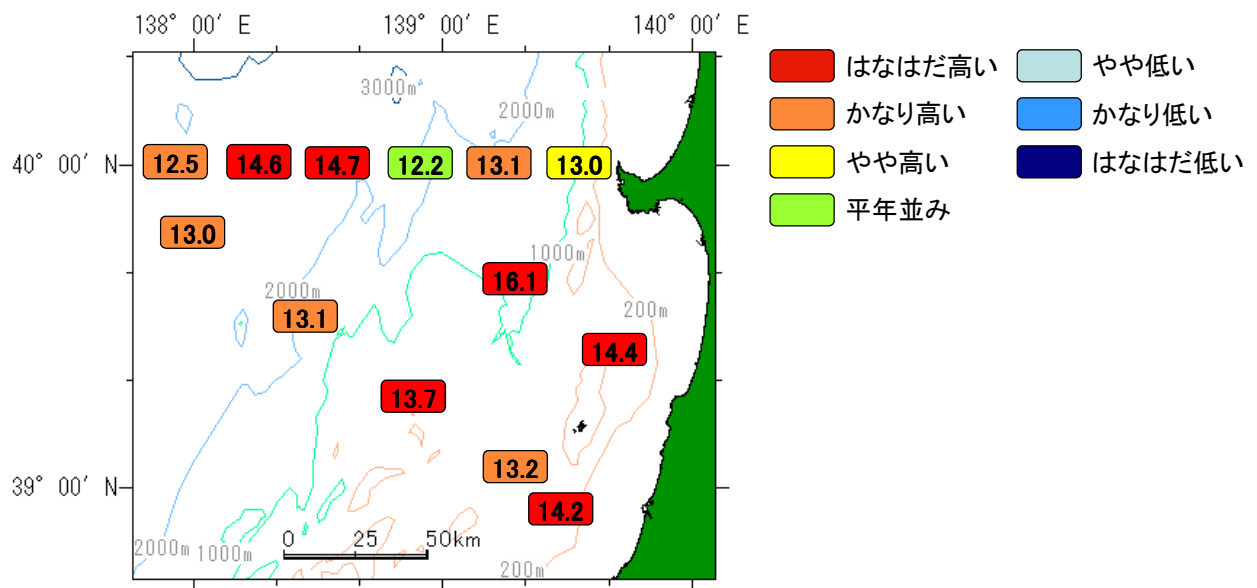


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

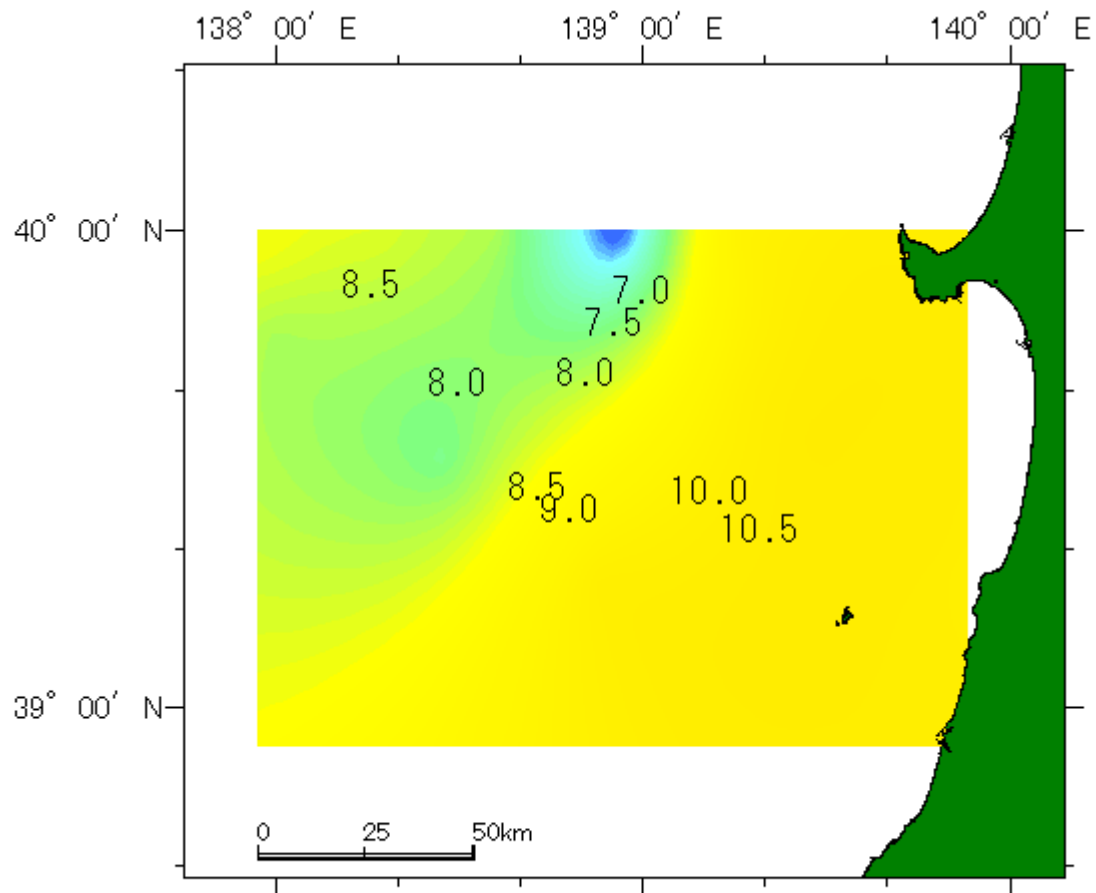


図4 水深50m層の水温分布

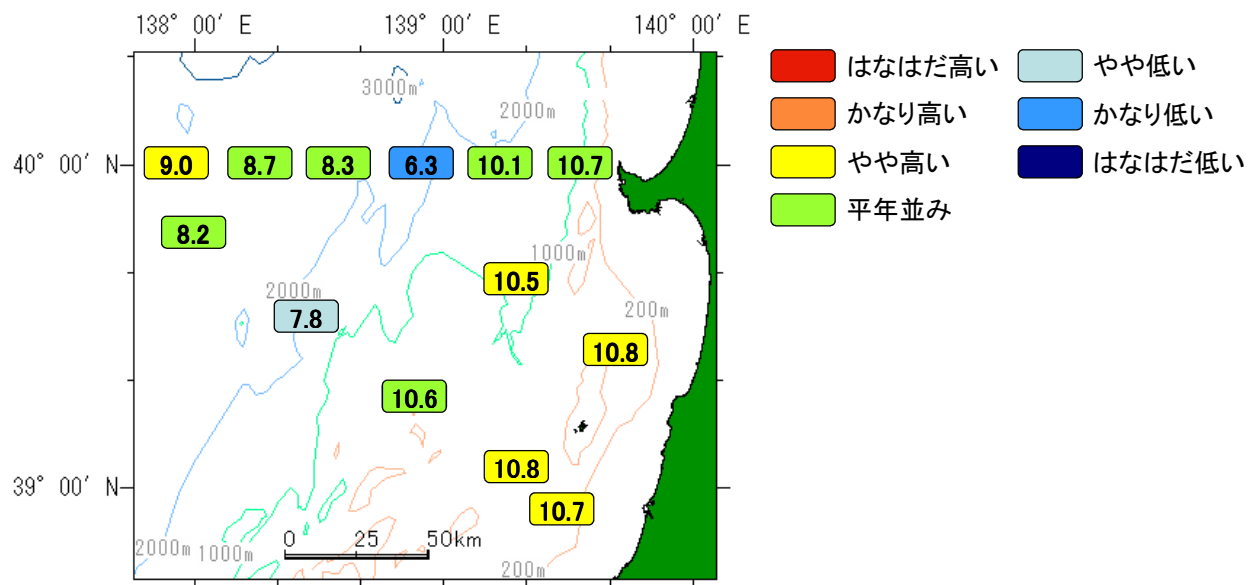


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

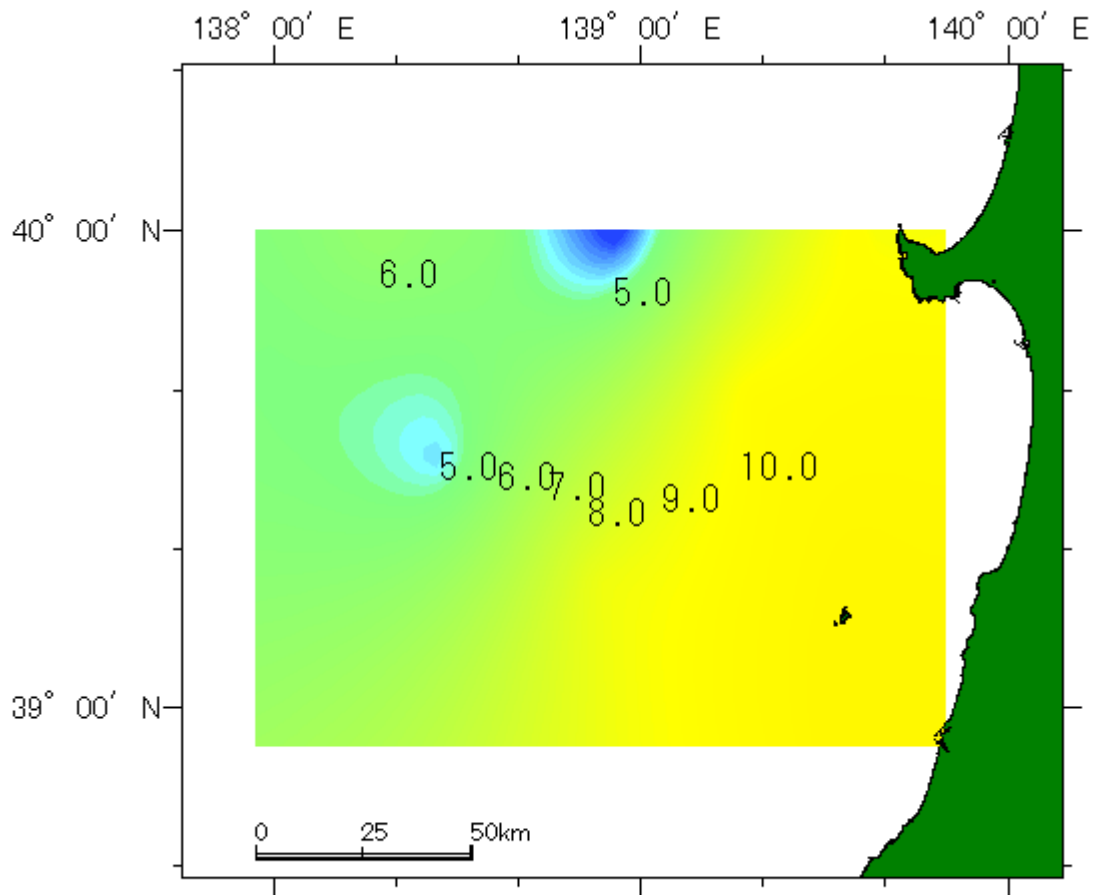


図6 水深100m層の水温分布

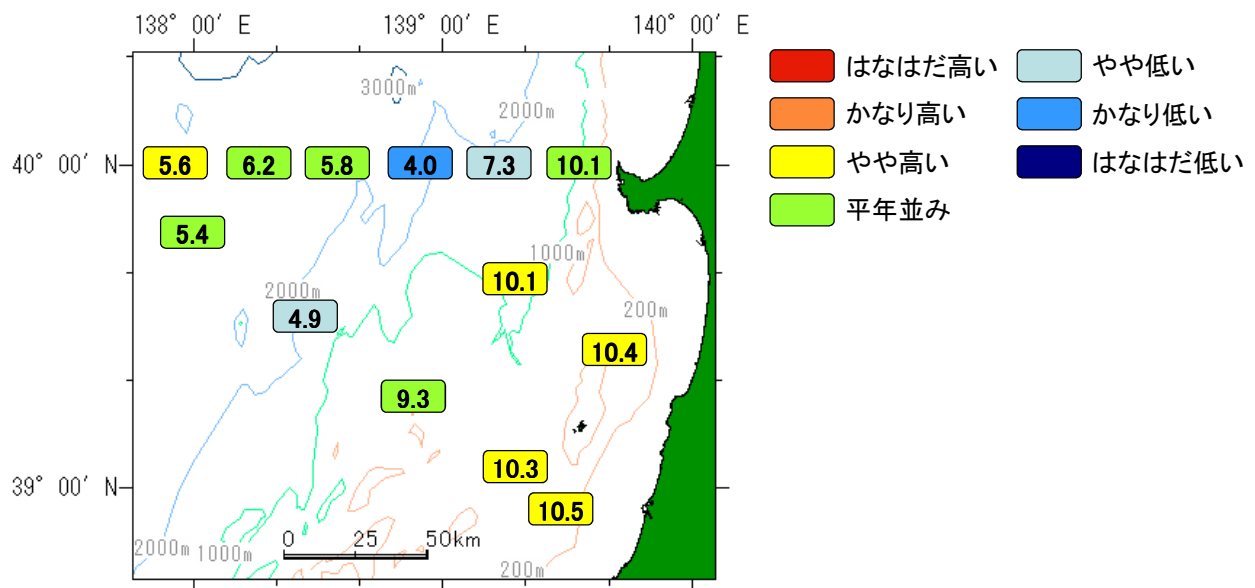


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

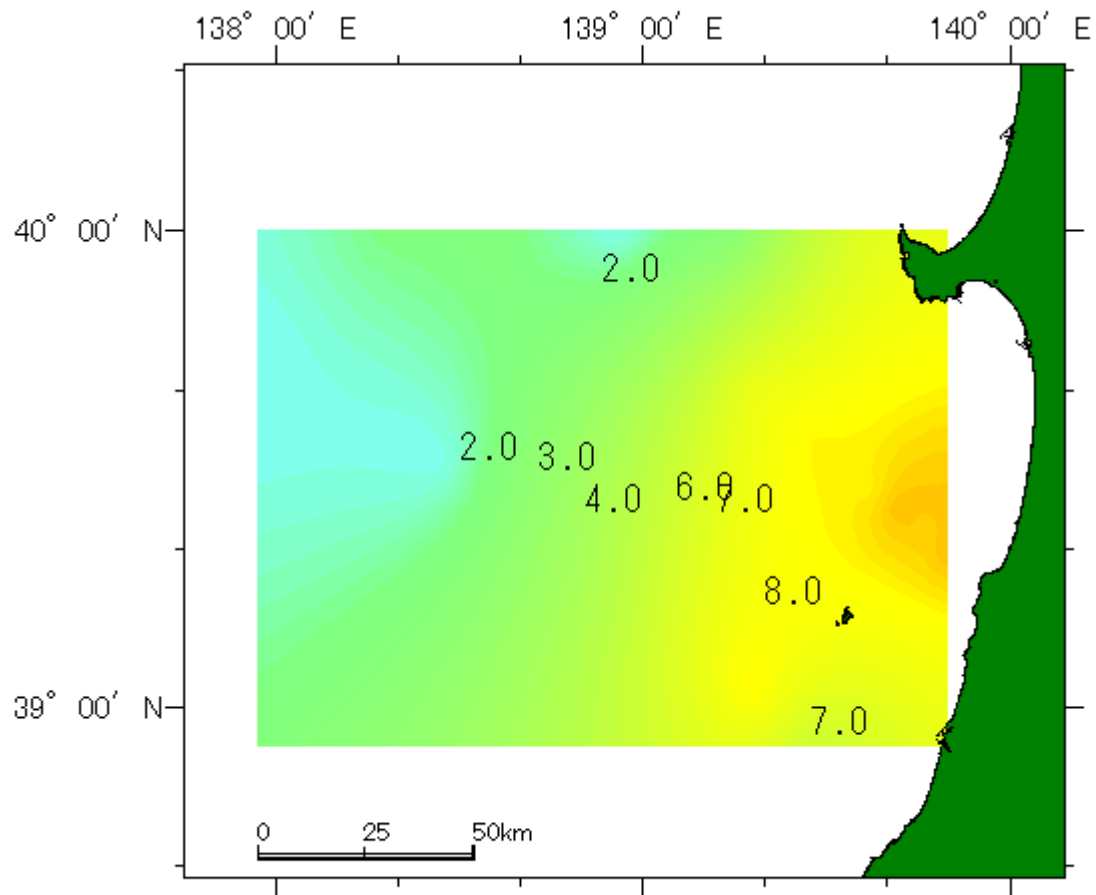


図8 水深200m層の水温分布

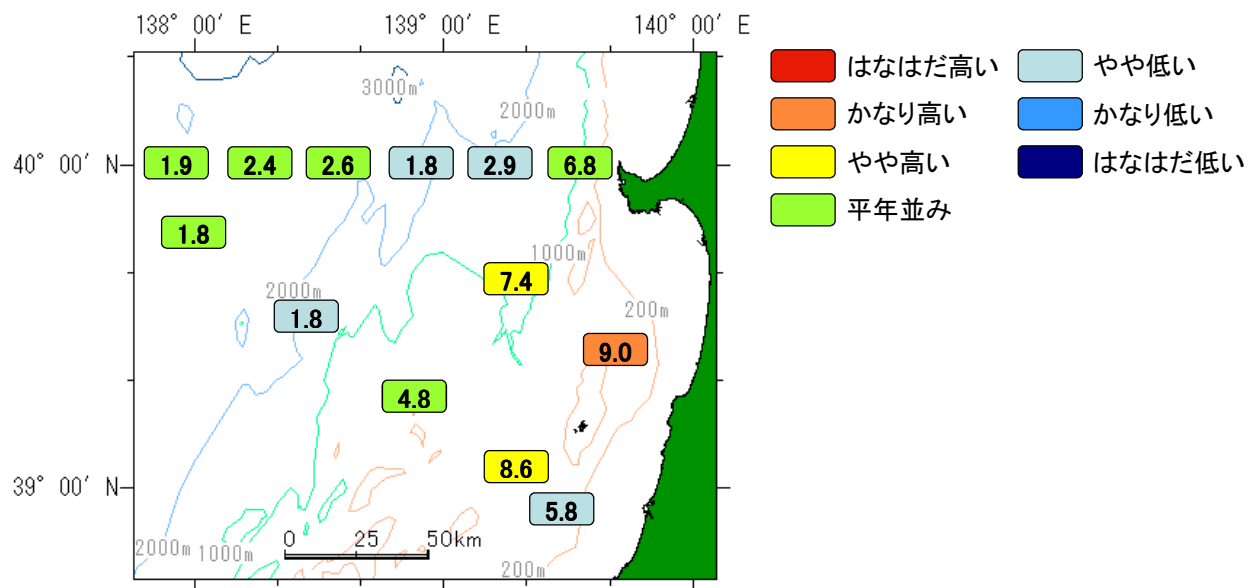


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

<300m層>

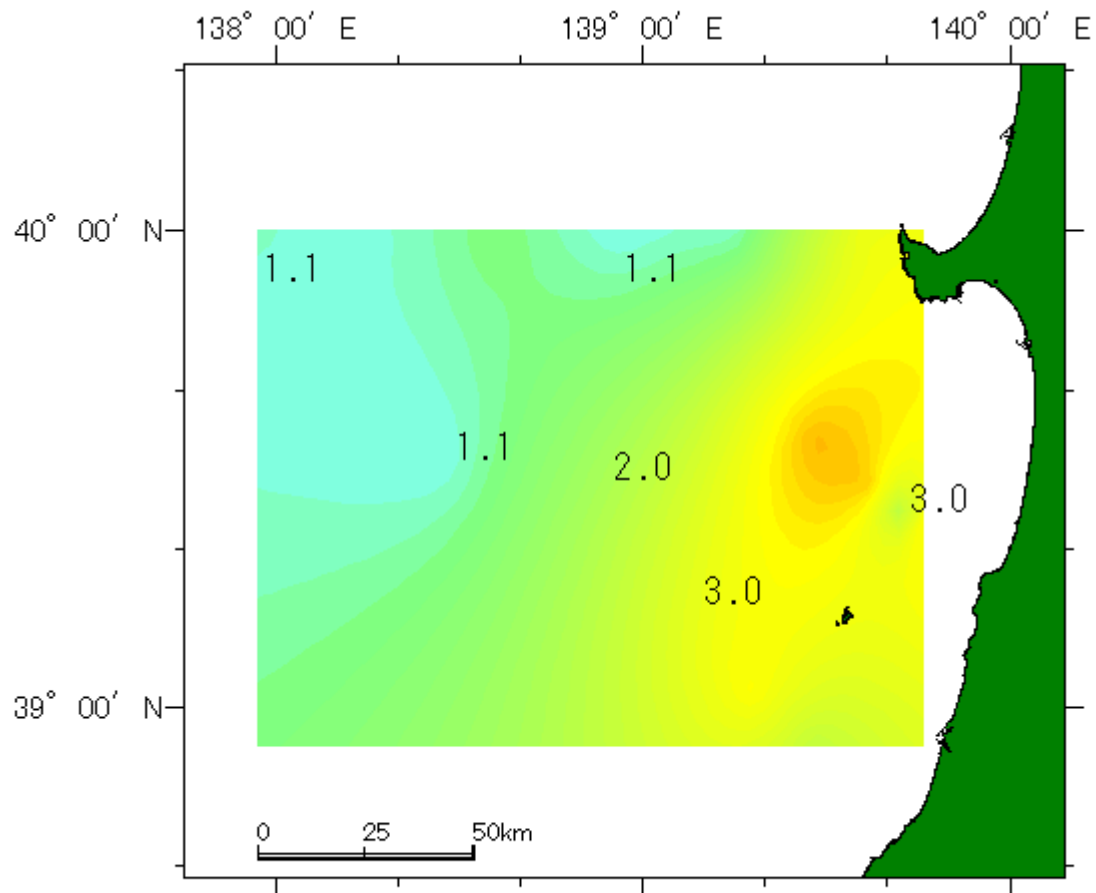


図10 水深300m層の水温分布

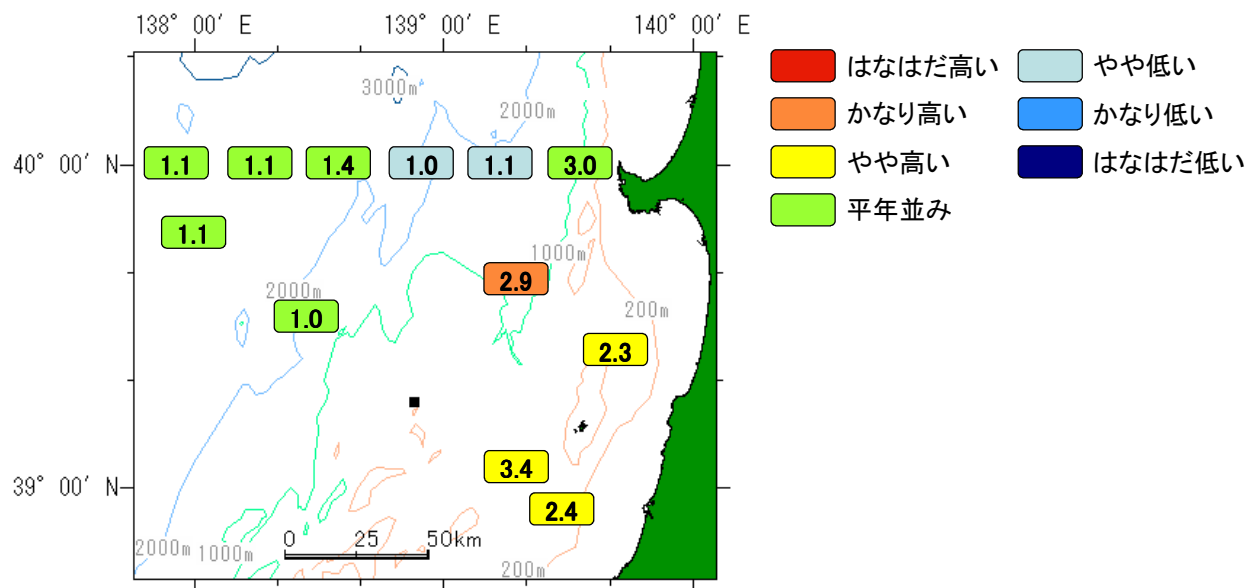


図11 水深300m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成27年6月)

漁業調査指導船「千秋丸」により6月1～2日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

- 表 層(2ページ) 「やや高い」～「かなり高い」水温です。
 50 m層(3ページ) 「平年並み」～「やや高い」水温です。
 100m層(4ページ) 「やや低い」～「やや高い」水温です。
 200m層(5ページ) 「平年並み」～「かなり高い」水温です。
 300m層(6ページ) 「平年並み」～「はなはだ高い」水温です。

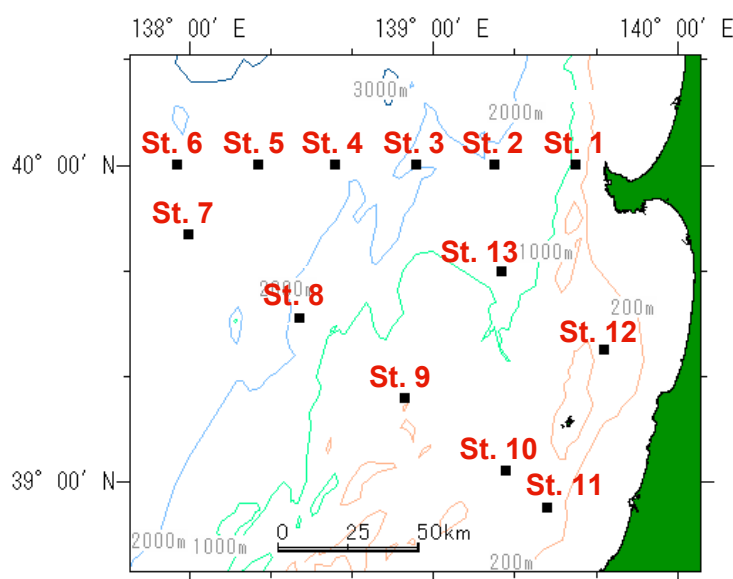


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
かなり高い	+130以上200未満	(出現確率:約10年に1回)
やや高い	+60以上130未満	(出現確率:約4年に1回)
平年並み	±60未満	(出現確率:約2年に1回)
やや低い	-60以上130未満	(出現確率:約4年に1回)
かなり低い	-130以上200未満	(出現確率:約10年に1回)
はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
 平年値:1981～2010年までの平均値

<表層>

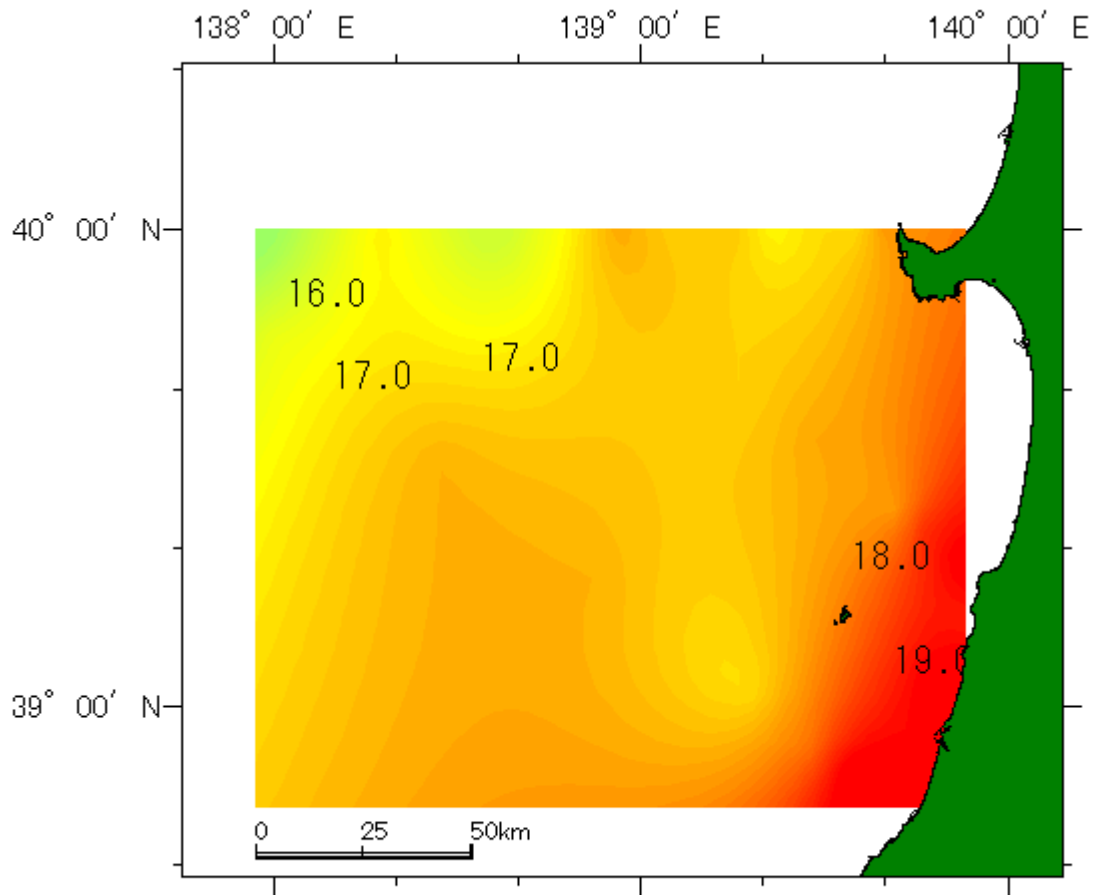


図2 表層の水温分布

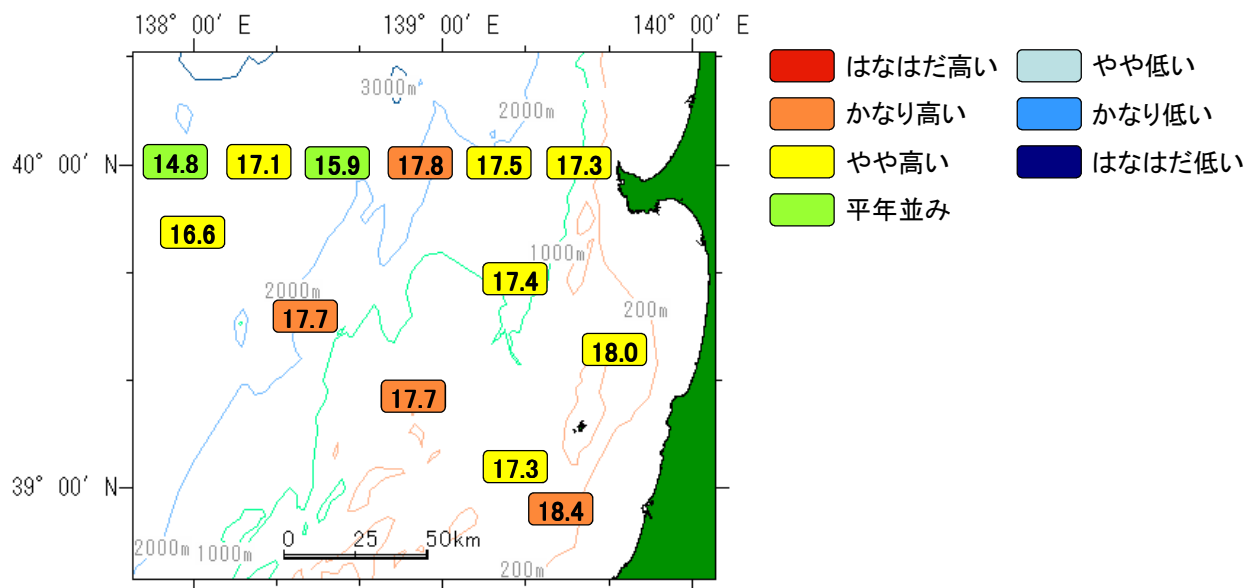


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

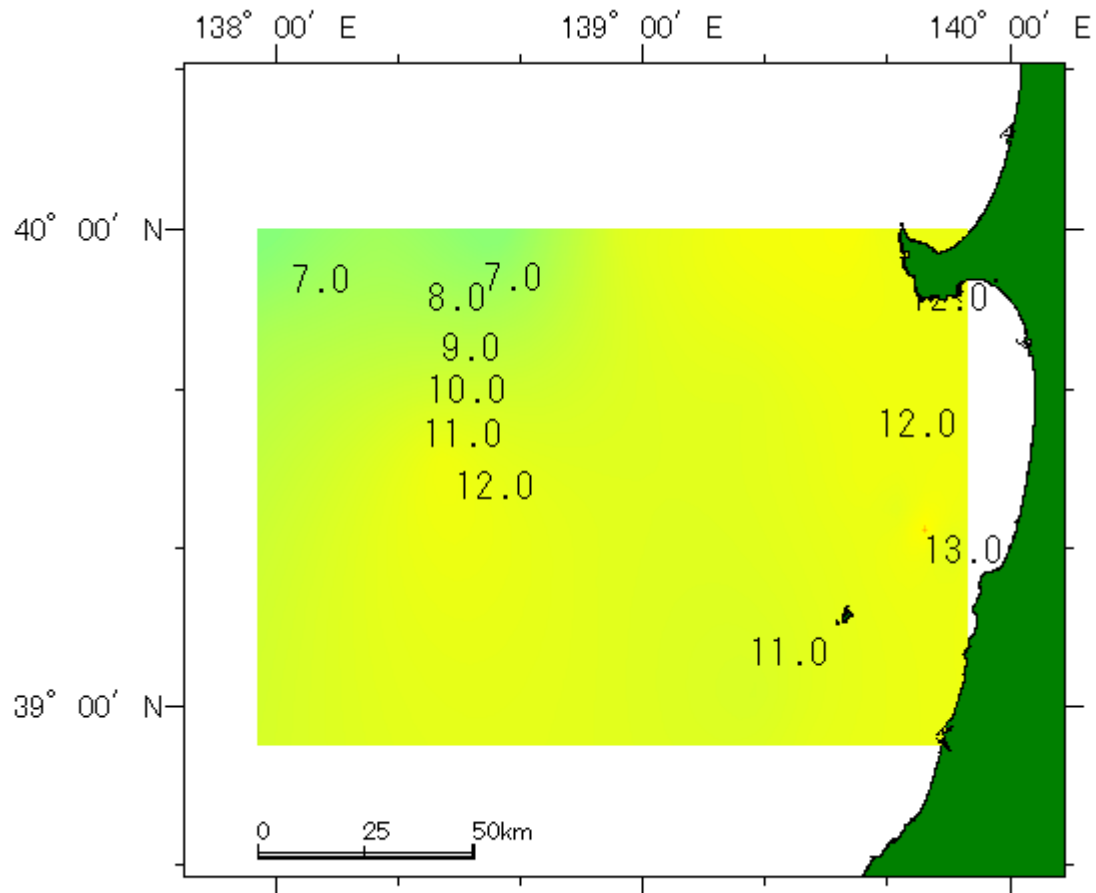


図4 水深50m層の水温分布

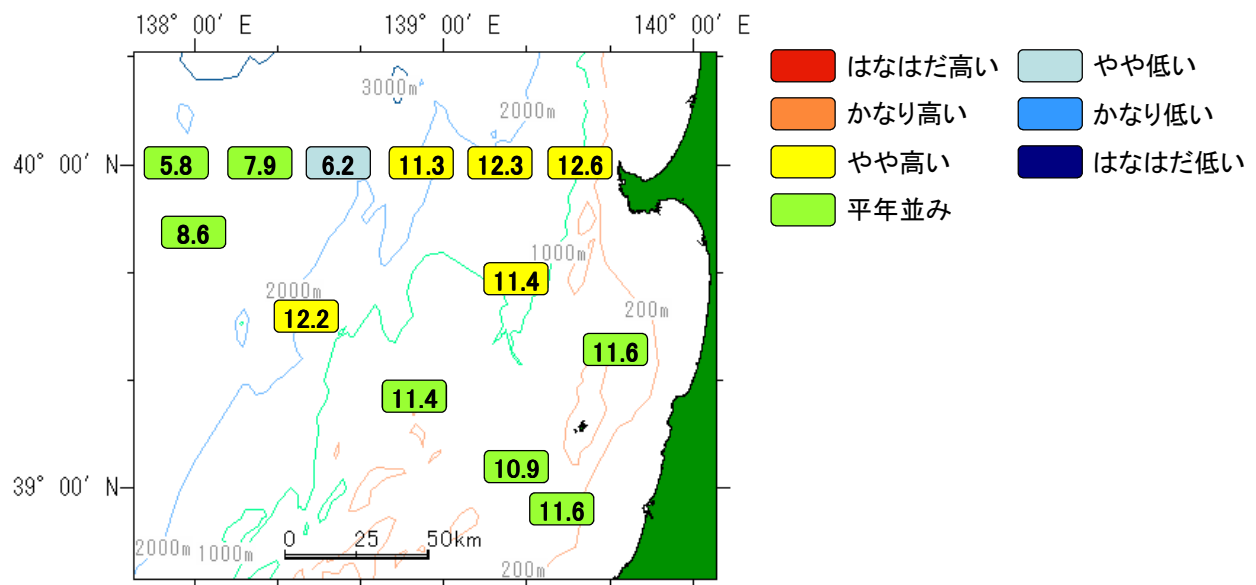


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

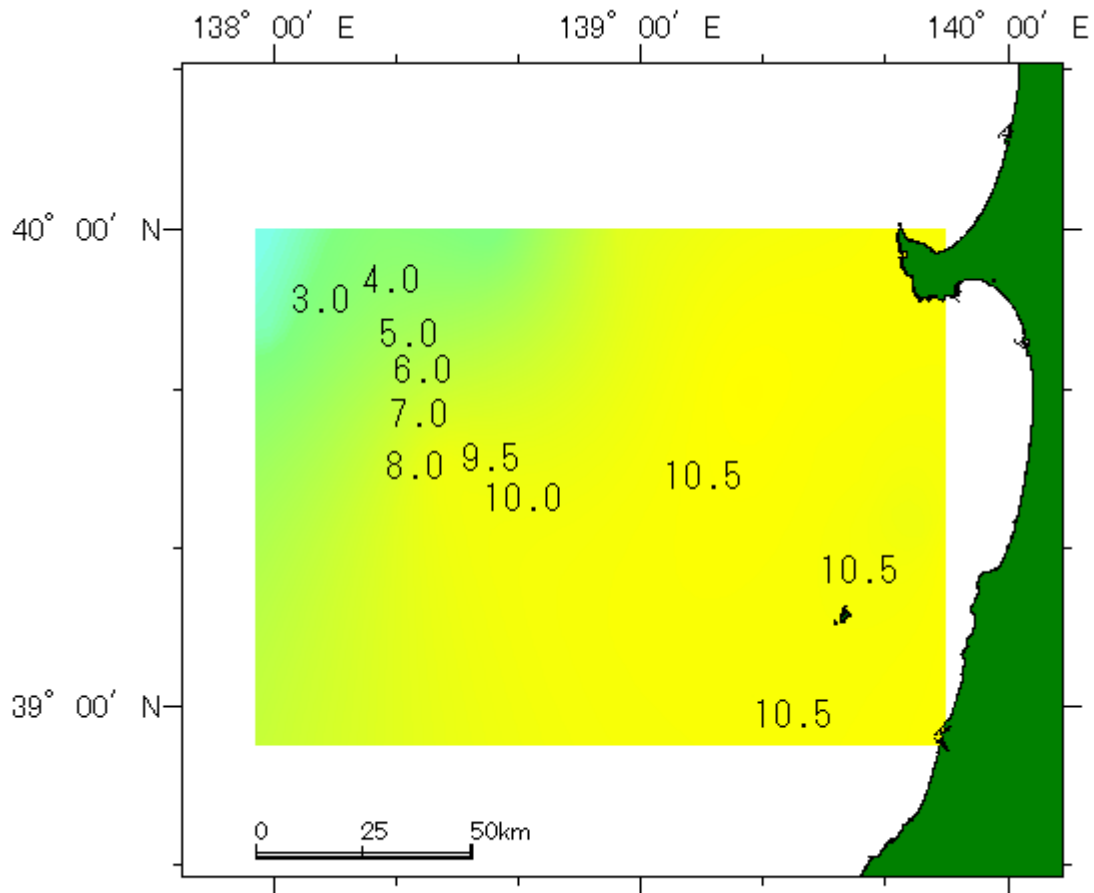


図6 水深100m層の水温分布

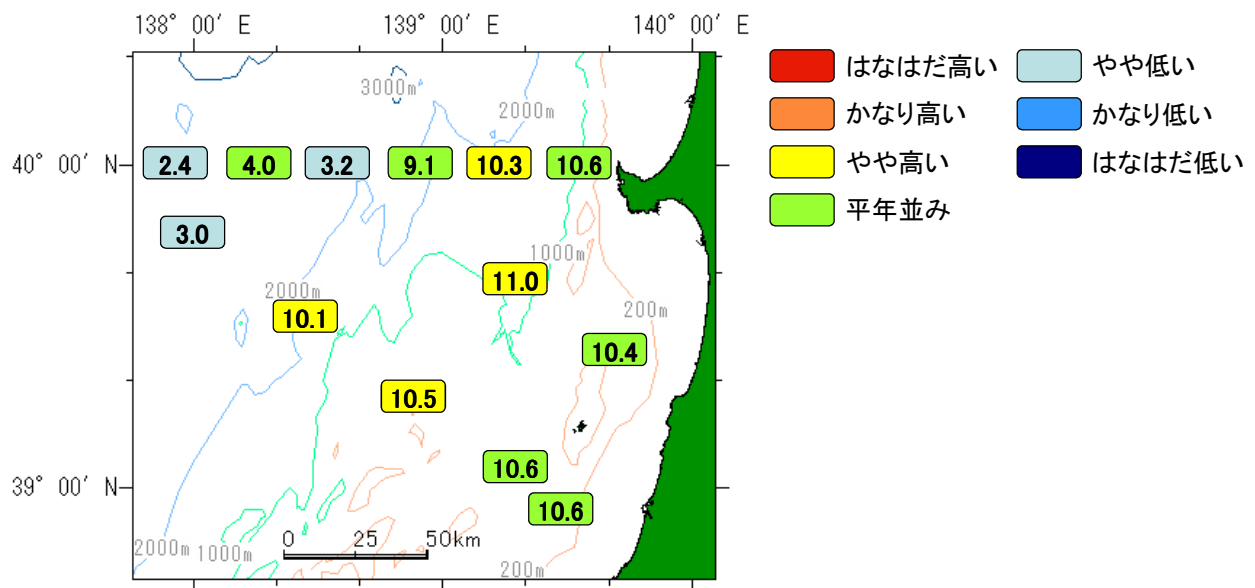


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

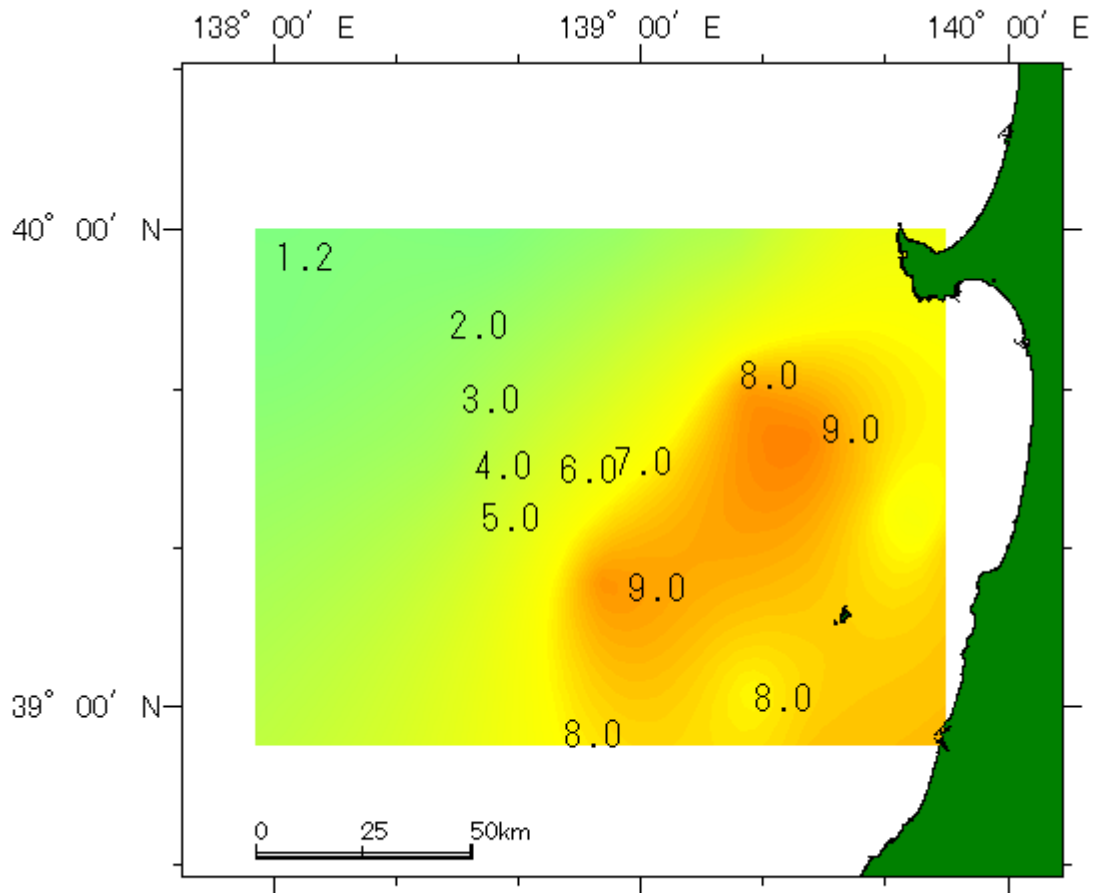


図8 水深200m層の水温分布

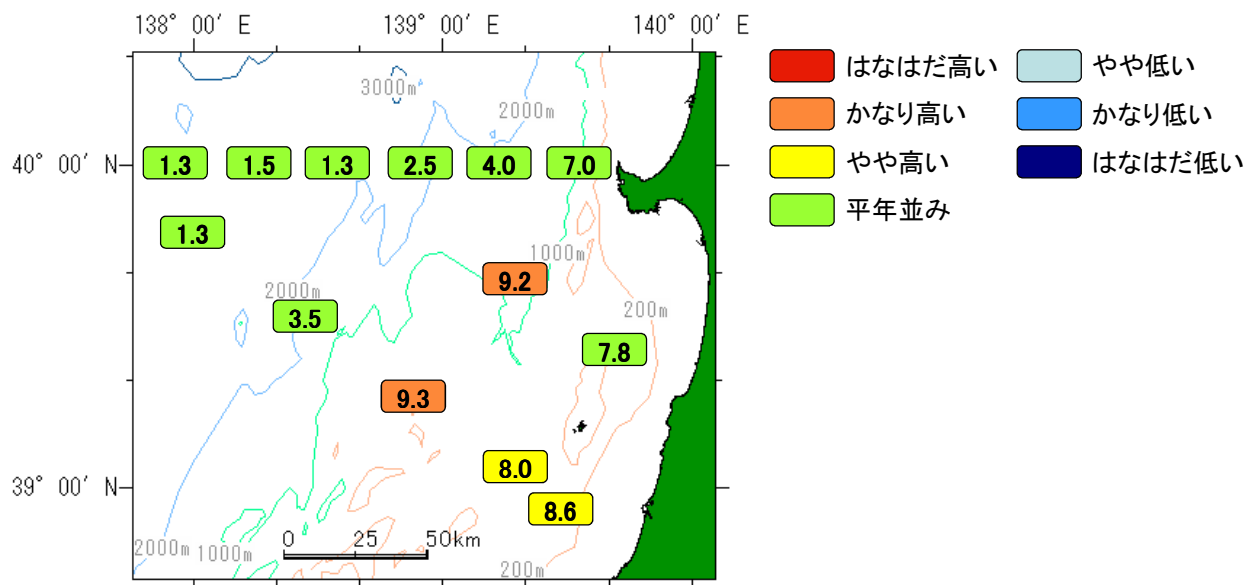


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

<300m層>

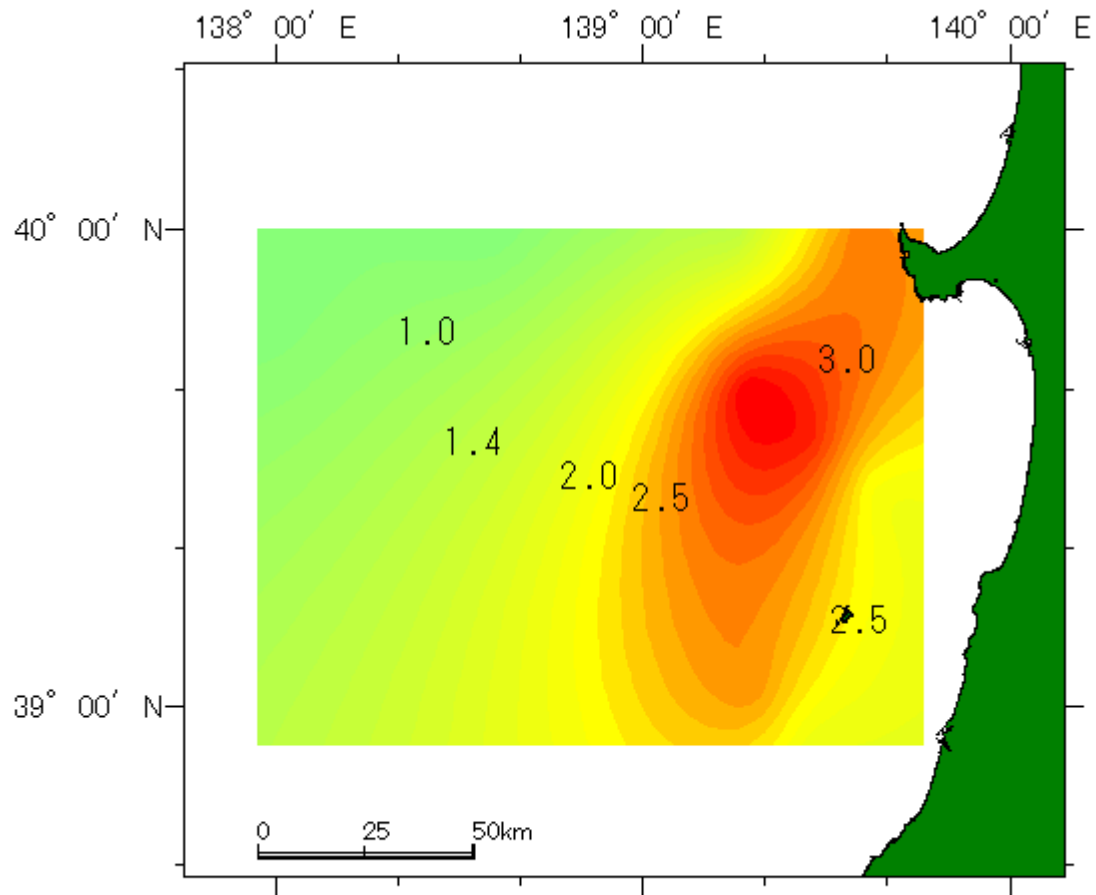


図10 水深300m層の水温分布

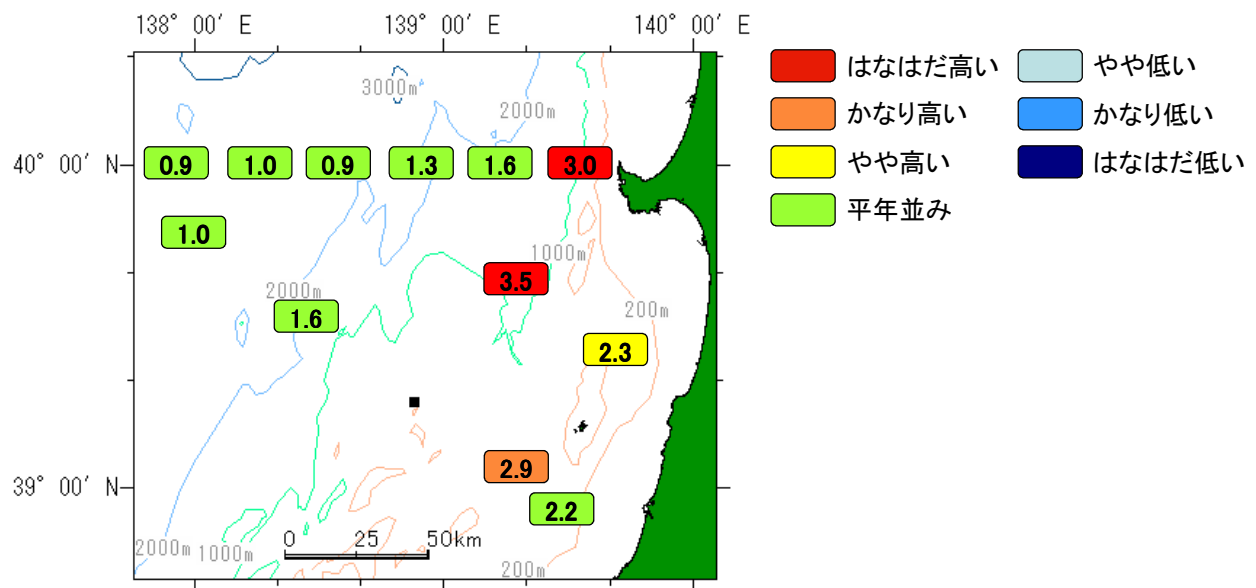


図11 水深300m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成27年9月)

漁業調査指導船「千秋丸」により8月31日～9月1日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

- 表 層(2ページ) 「やや低い」～「平年並み」水温です。
 50 m層(3ページ) 「やや低い」～「やや高い」水温です。
 100m層(4ページ) 「やや低い」～「やや高い」水温です。
 200m層(5ページ) 「平年並み」～「かなり高い」水温です。
 300m層(6ページ) 「平年並み」～「かなり高い」水温です。

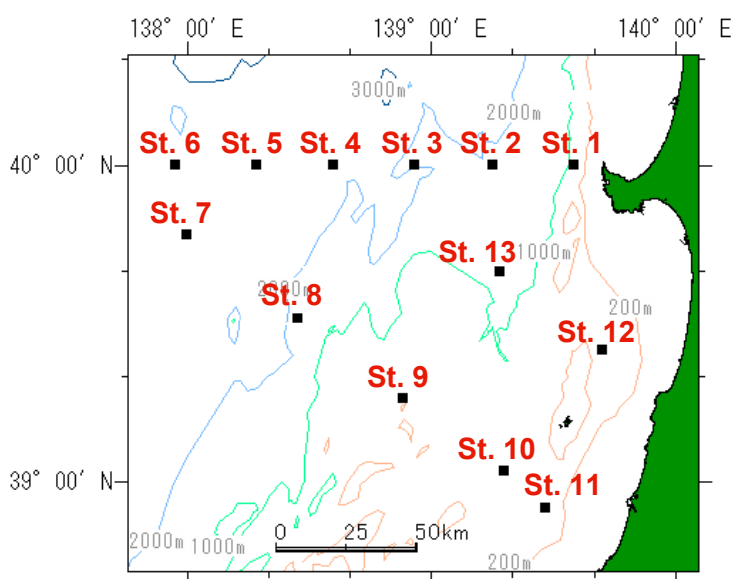


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
かなり高い	+130以上200未満	(出現確率:約10年に1回)
やや高い	+60以上130未満	(出現確率:約4年に1回)
平年並み	±60未満	(出現確率:約2年に1回)
やや低い	-60以上130未満	(出現確率:約4年に1回)
かなり低い	-130以上200未満	(出現確率:約10年に1回)
はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
 平年値:1981～2010年までの平均値

<表層>

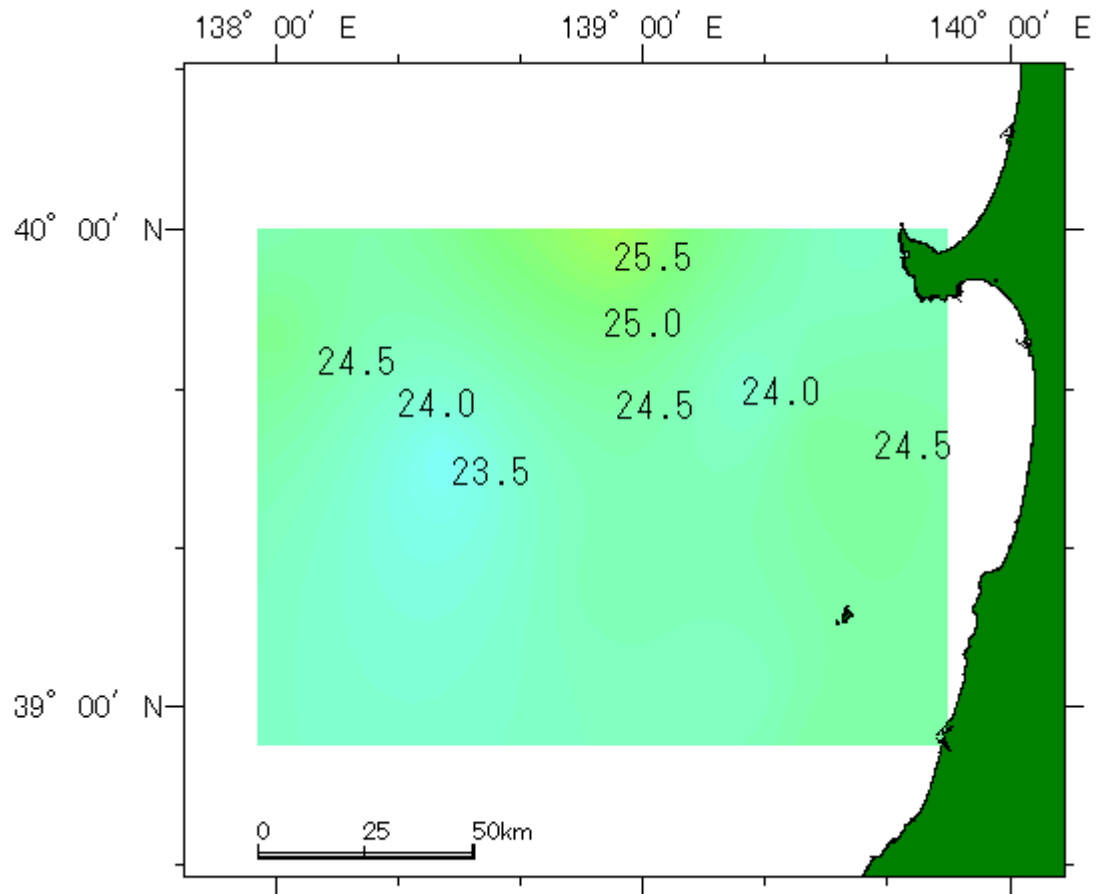


図2 表層の水温分布

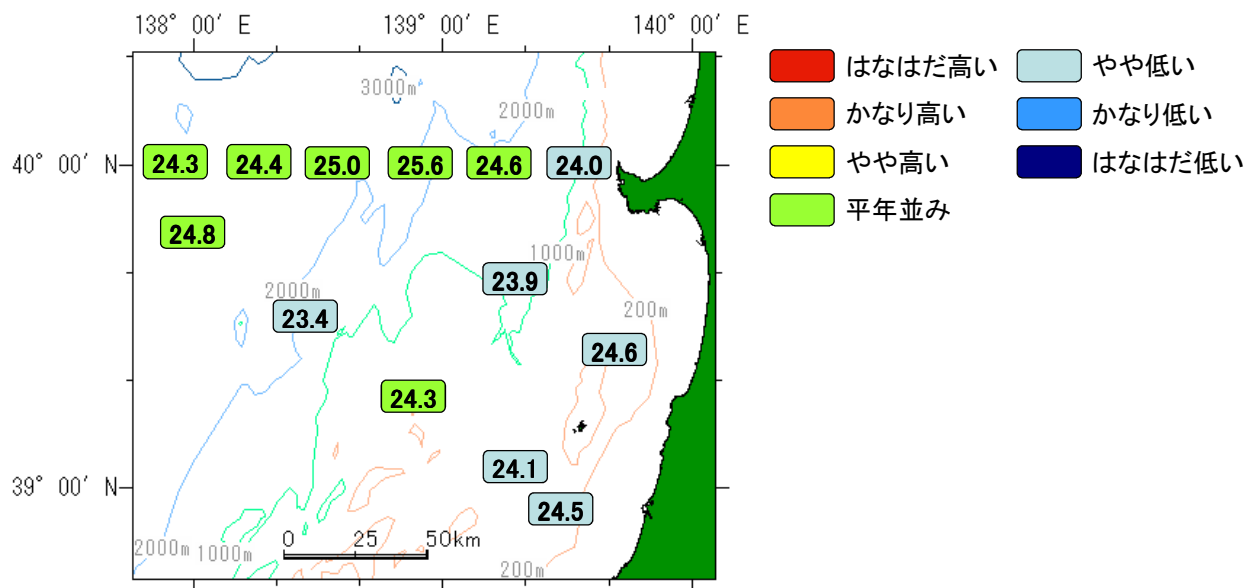


図3 表層における水温の評価と観測値(℃)

<50m層>

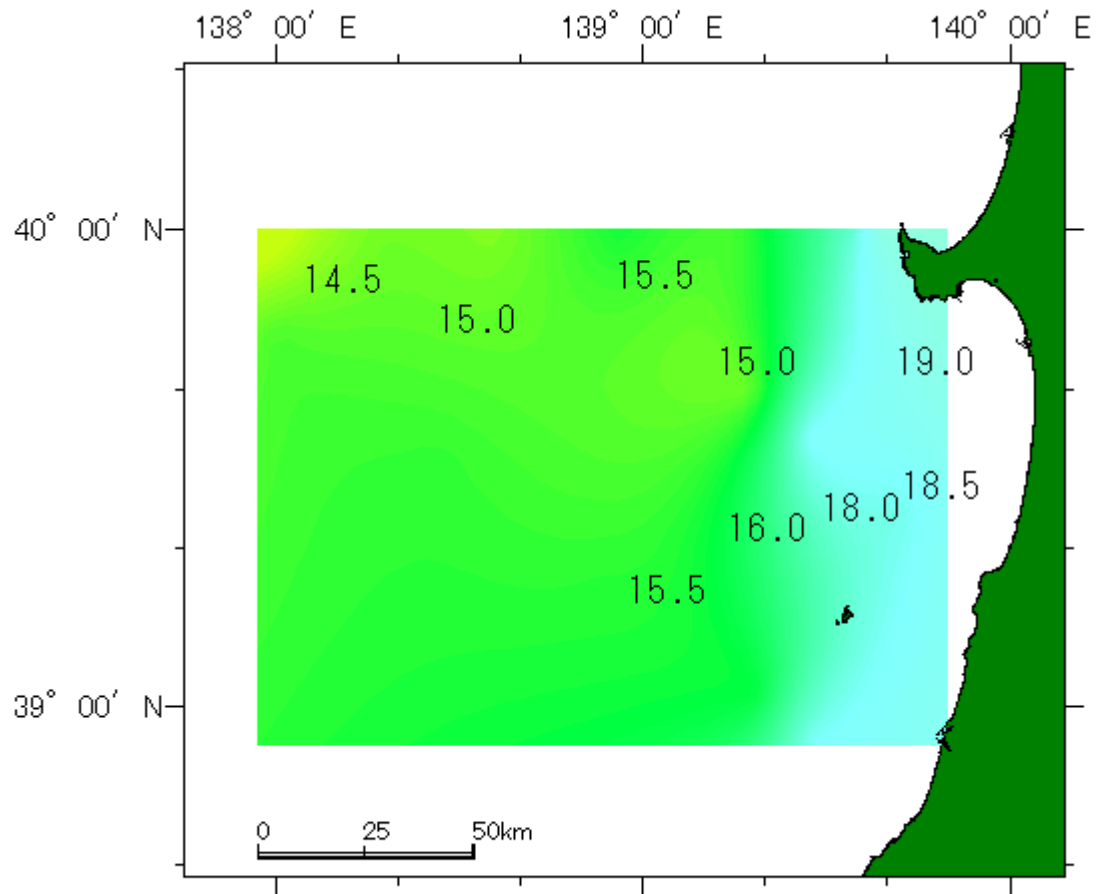


図4 水深50m層の水温分布

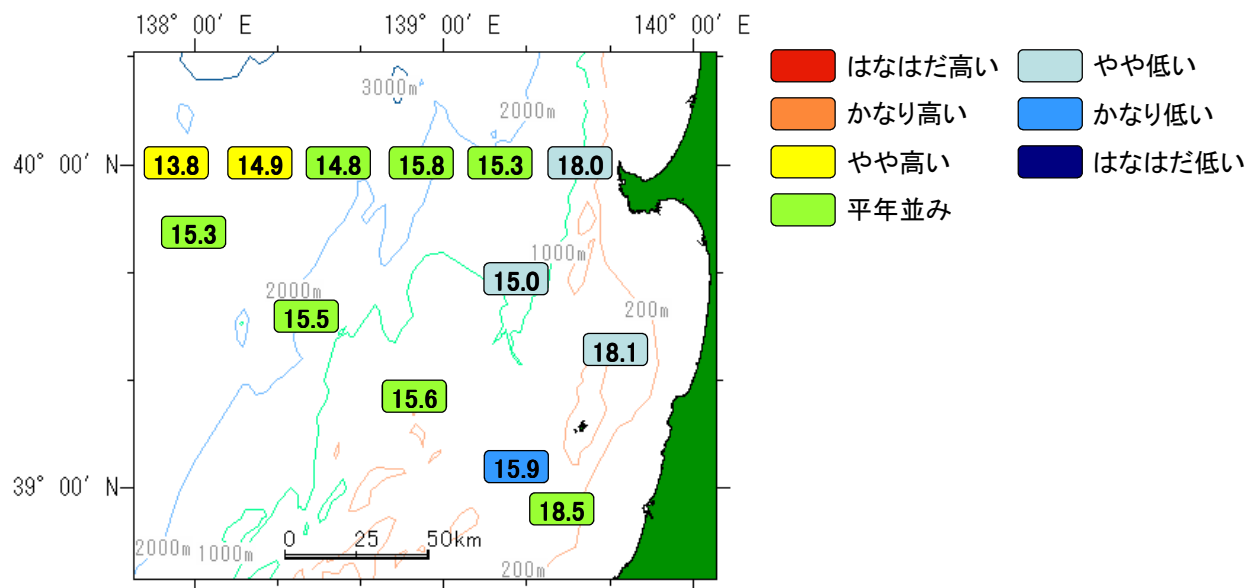


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

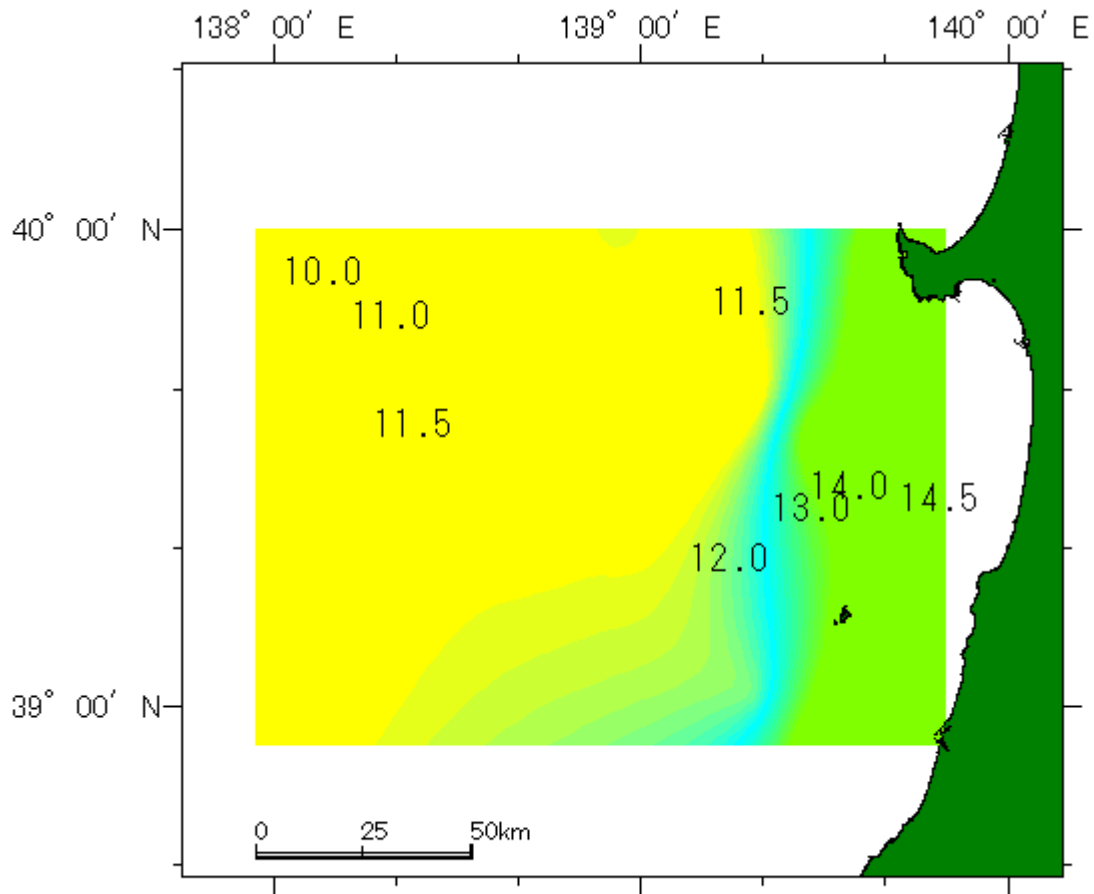


図6 水深100m層の水温分布

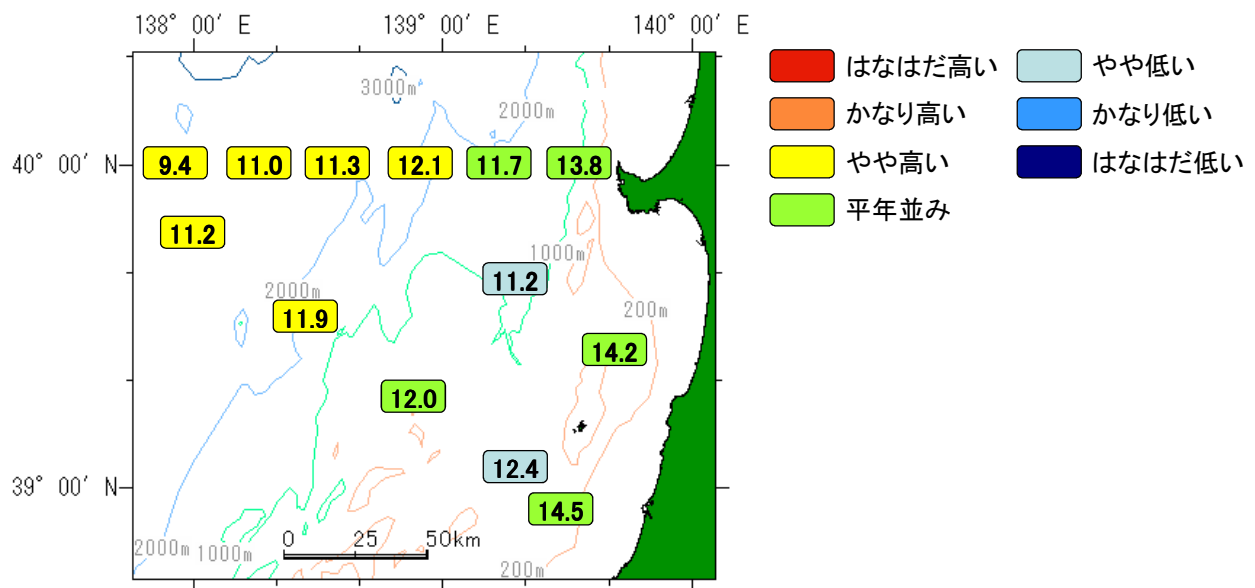


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

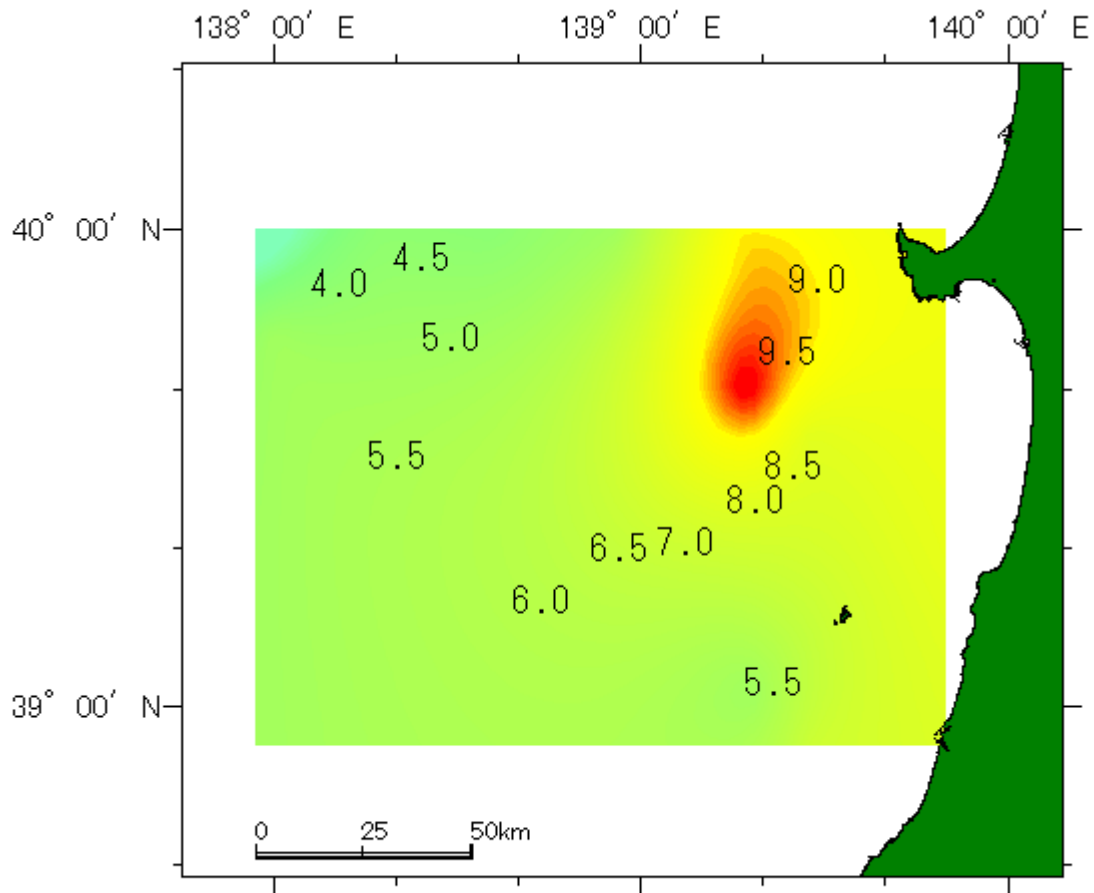


図8 水深200m層の水温分布

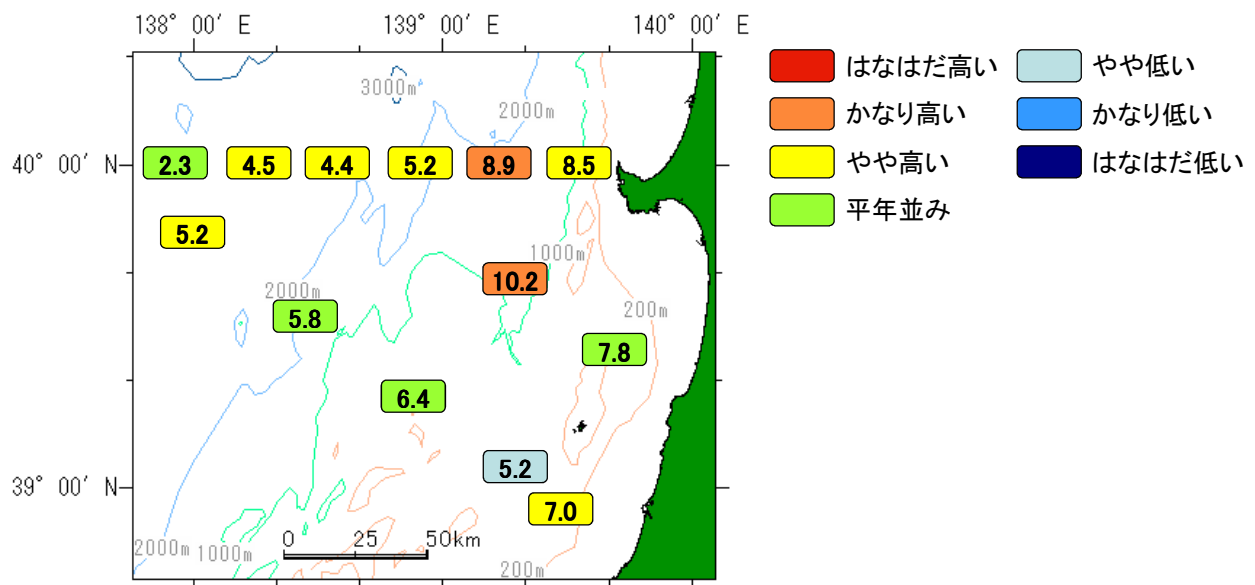


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

<300m層>

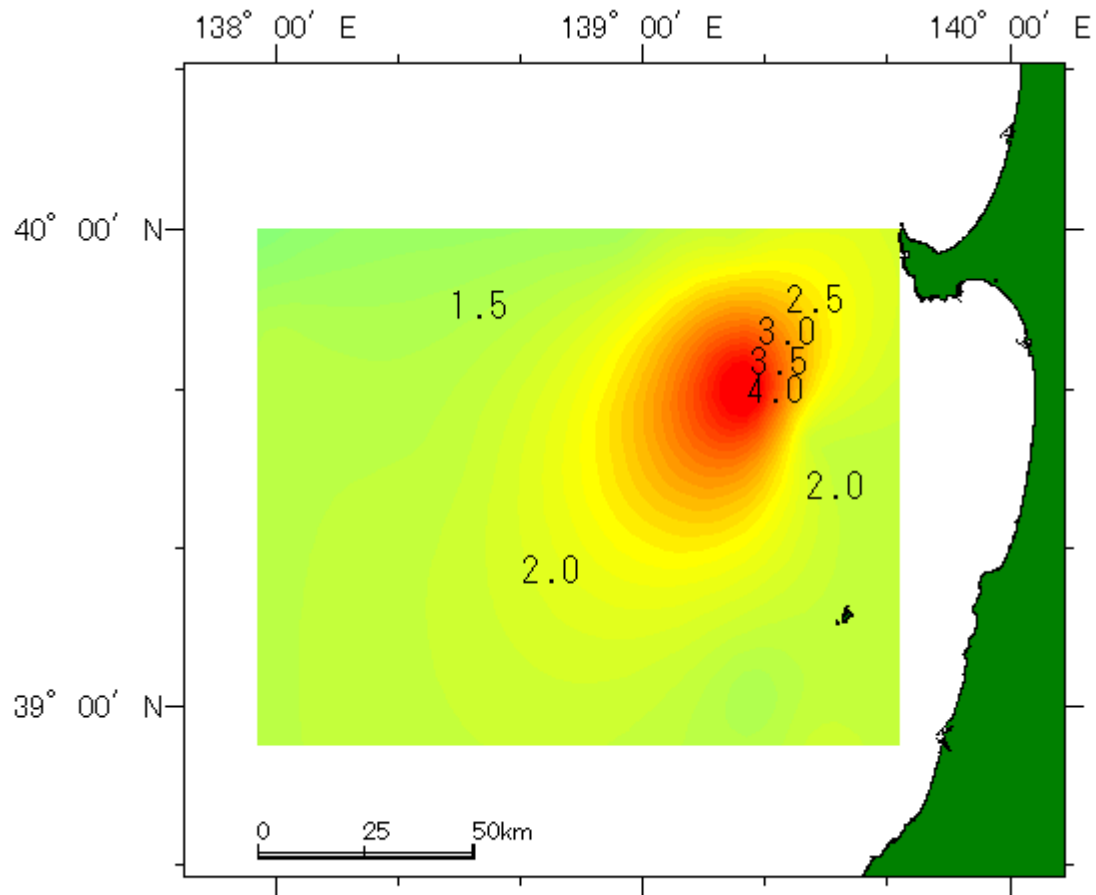


図10 水深300m層の水温分布

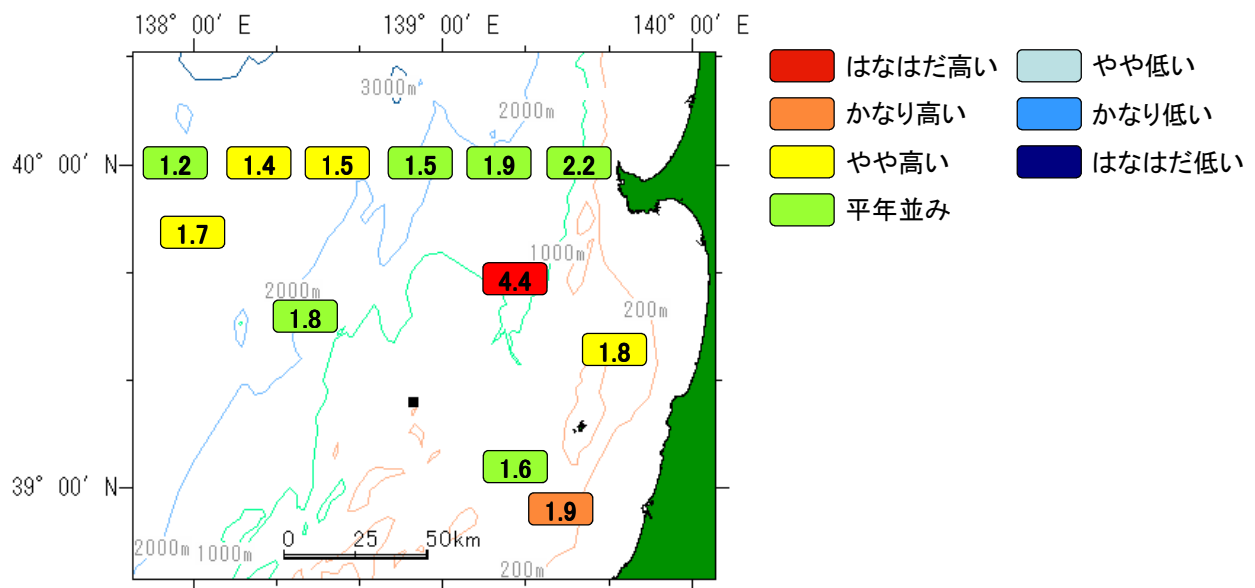


図11 水深300m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成27年10月)

漁業調査指導船「千秋丸」により10月5～6日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

- 表 層(2ページ) 「かなり低い」～「やや低い」水温です。
 50 m層(3ページ) 「平年並み」～「やや高い」水温です。
 100m層(4ページ) 「やや低い」～「かなり高い」水温です。
 200m層(5ページ) 「やや低い」～「はなはだ高い」水温です。
 300m層(6ページ) 「平年並み」～「かなり高い」水温です。

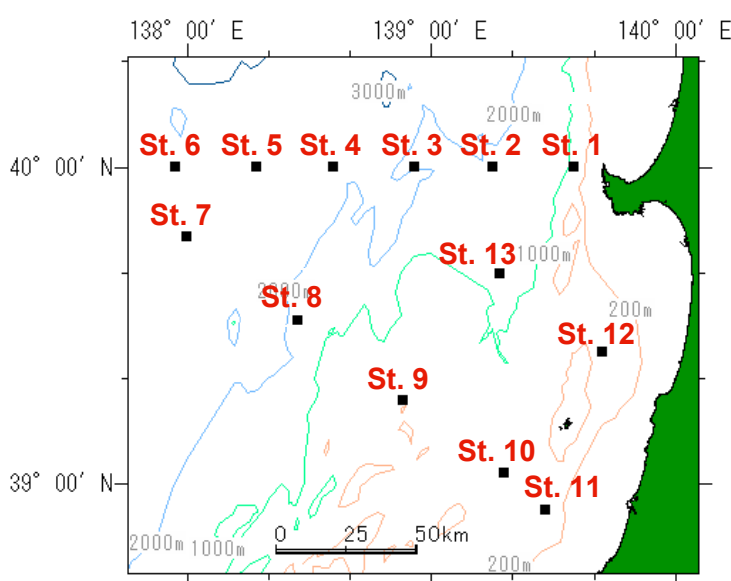


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
かなり高い	+130以上200未満	(出現確率:約10年に1回)
やや高い	+60以上130未満	(出現確率:約4年に1回)
平年並み	±60未満	(出現確率:約2年に1回)
やや低い	-60以上130未満	(出現確率:約4年に1回)
かなり低い	-130以上200未満	(出現確率:約10年に1回)
はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
 平年値:1981～2010年までの平均値

<表層>

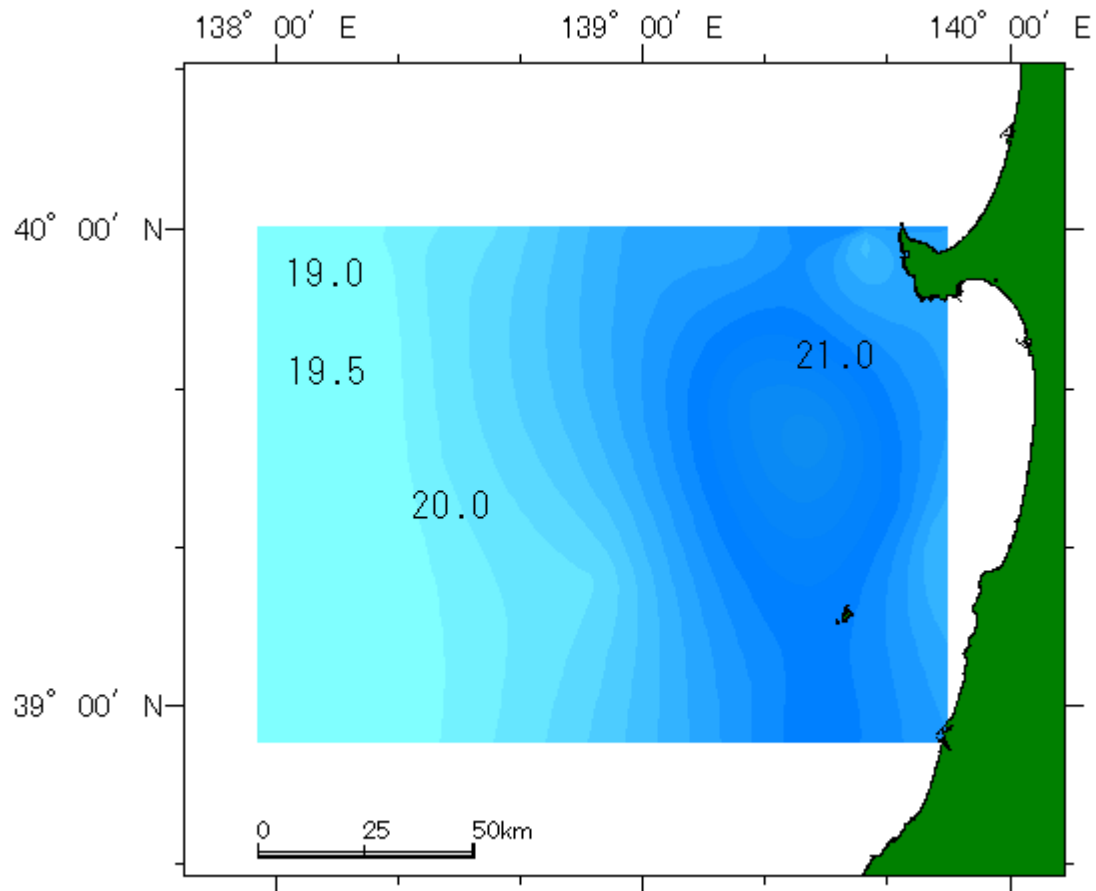


図2 表層の水温分布

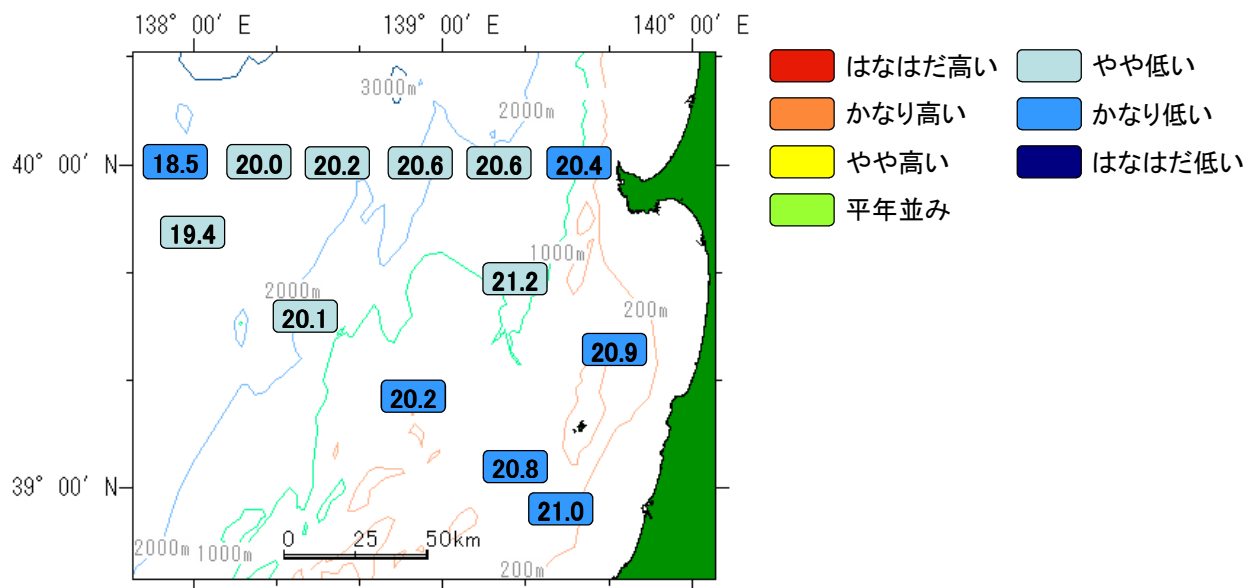


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

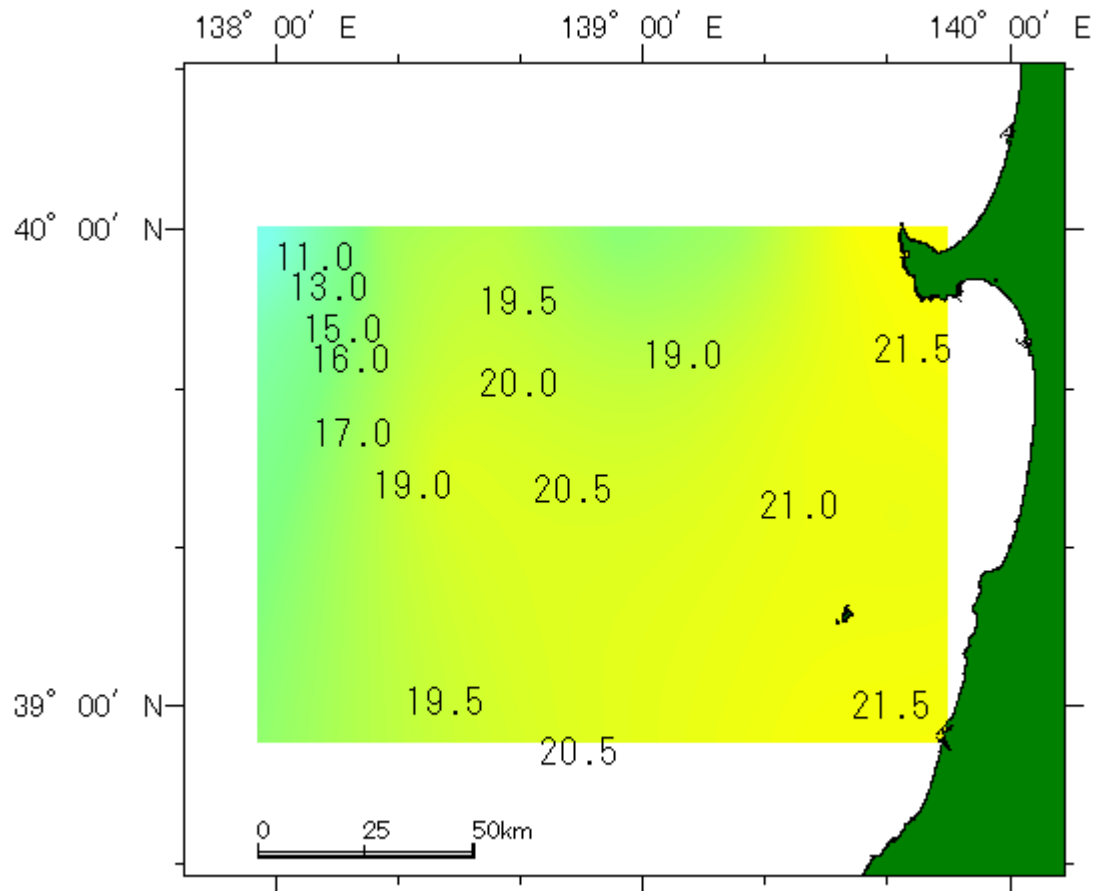


図4 水深50m層の水温分布

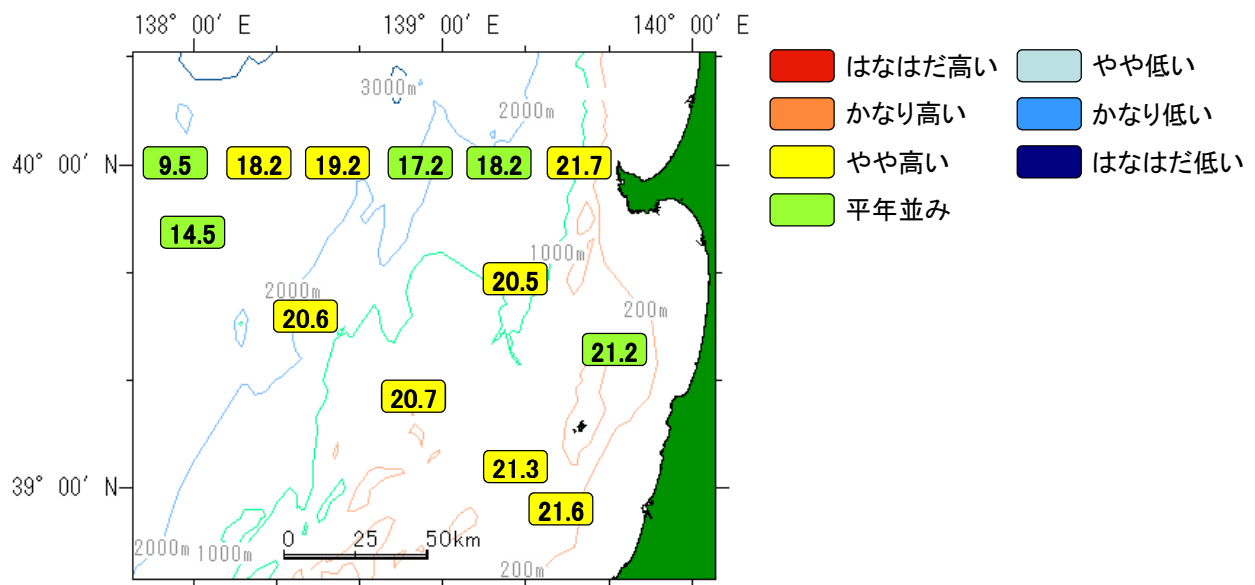


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

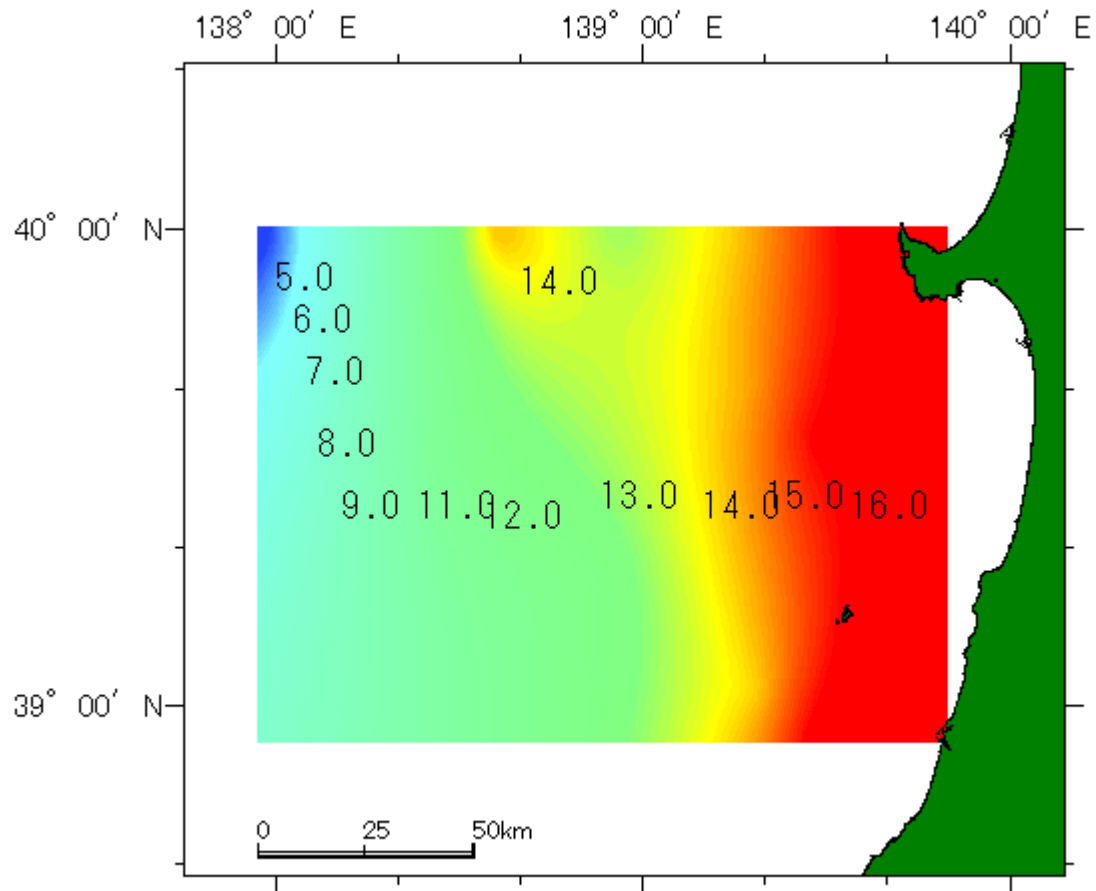


図6 水深100m層の水温分布

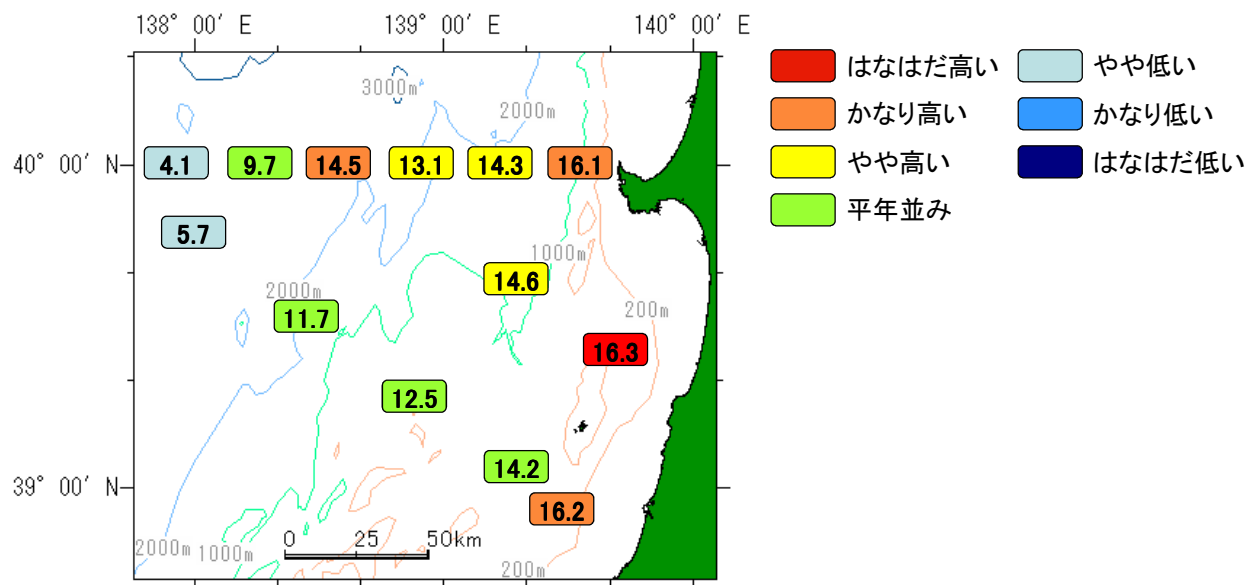


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

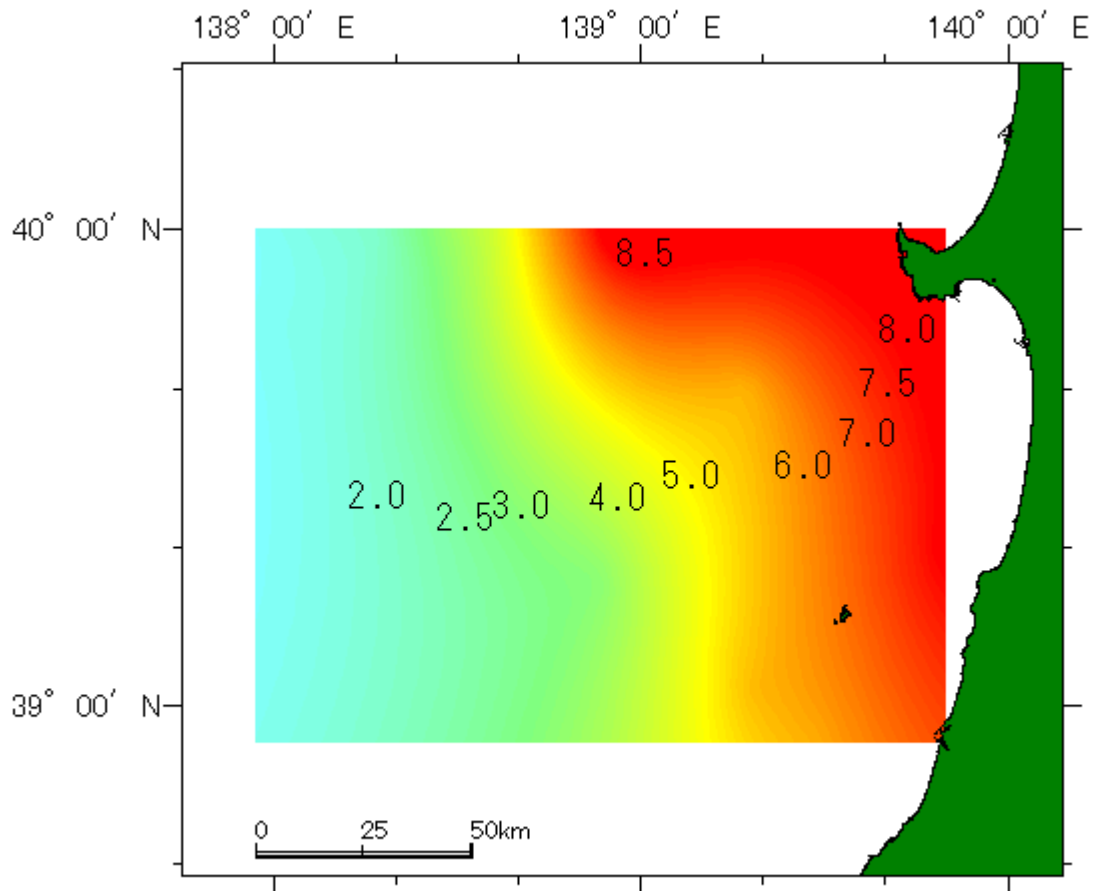


図8 水深200m層の水温分布

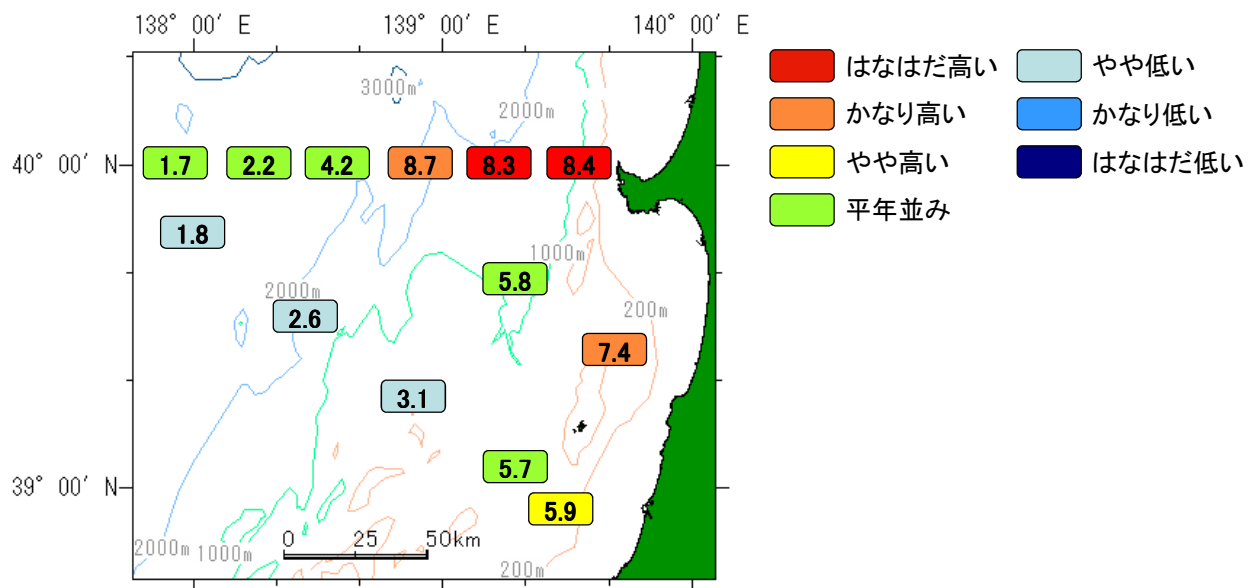


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

<300m層>

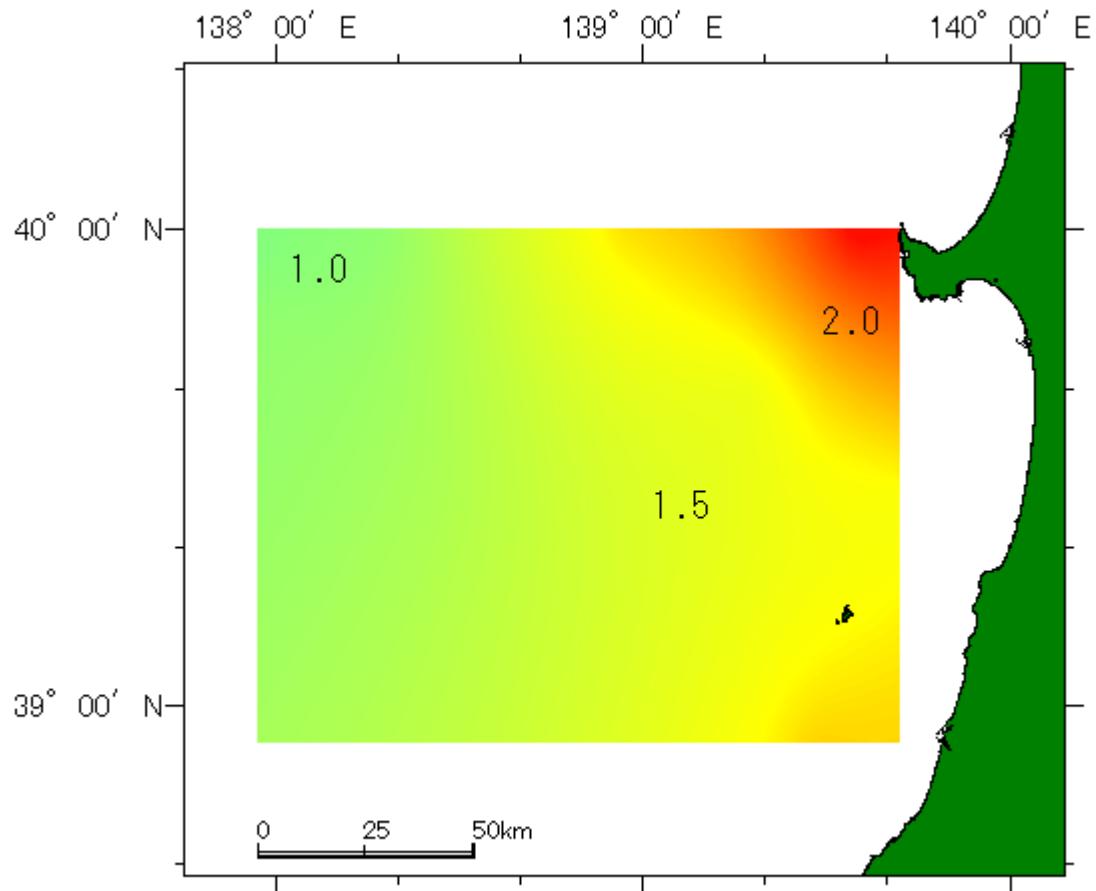


図10 水深300m層の水温分布

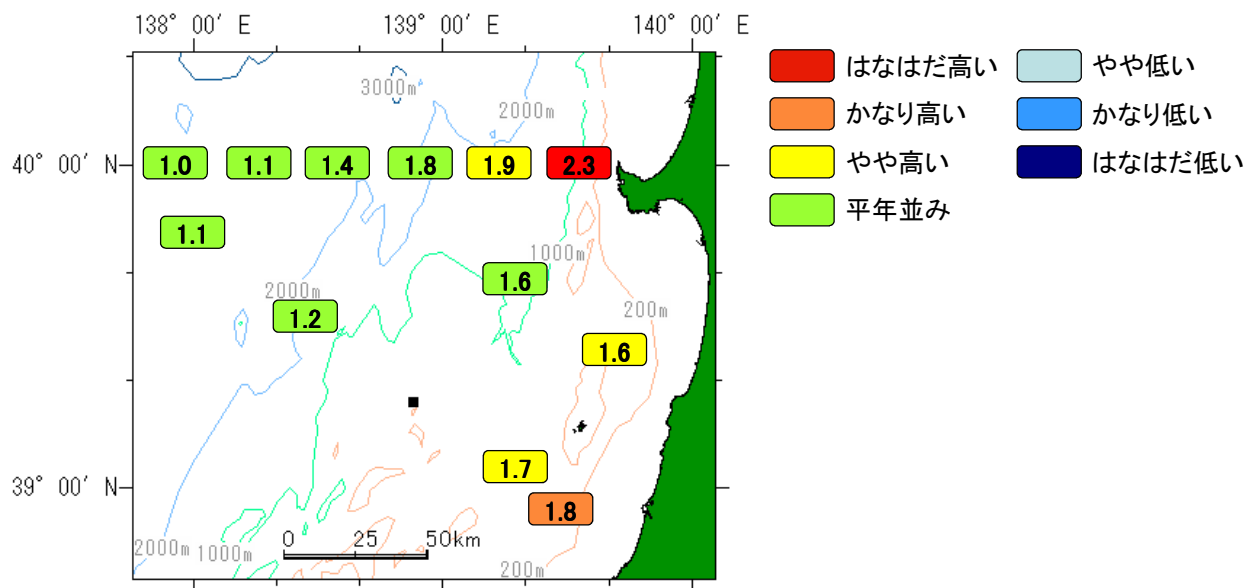


図11 水深300m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成27年11月)

漁業調査指導船「千秋丸」により11月4～5日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

表 層(2ページ) 男鹿半島沖のSt.4が「かなり低い」水温です。

St.4以外はほぼ「平年並み」です。

50 m層(3ページ) 「かなり低い」～「平年並み」の水温です。

100m層(4ページ) 「かなり低い」～「やや高い」水温です。

200m層(5ページ) 「やや低い」～「平年並み」の水温です。

300m層(6ページ) ほぼ「平年並み」の水温です。

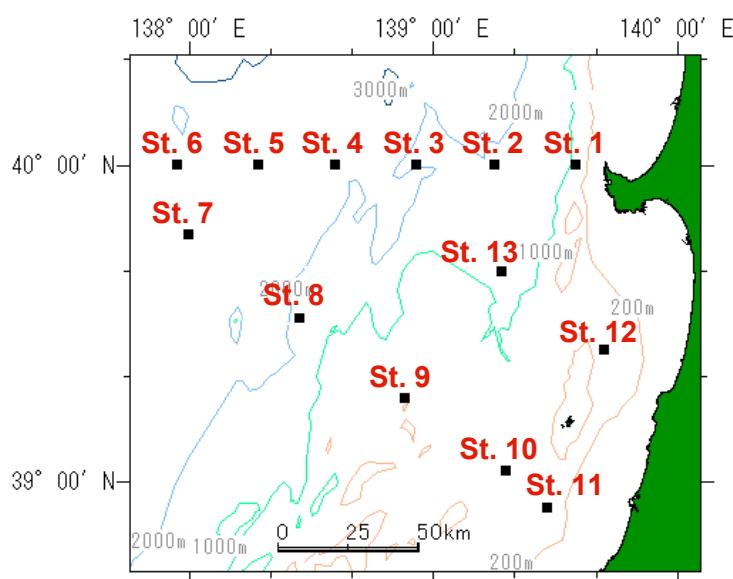


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
かなり高い	+130以上200未満	(出現確率:約10年に1回)
やや高い	+60以上130未満	(出現確率:約4年に1回)
平年並み	±60未満	(出現確率:約2年に1回)
やや低い	-60以上130未満	(出現確率:約4年に1回)
かなり低い	-130以上200未満	(出現確率:約10年に1回)
はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
平年値:1981～2010年までの平均値

<表層>

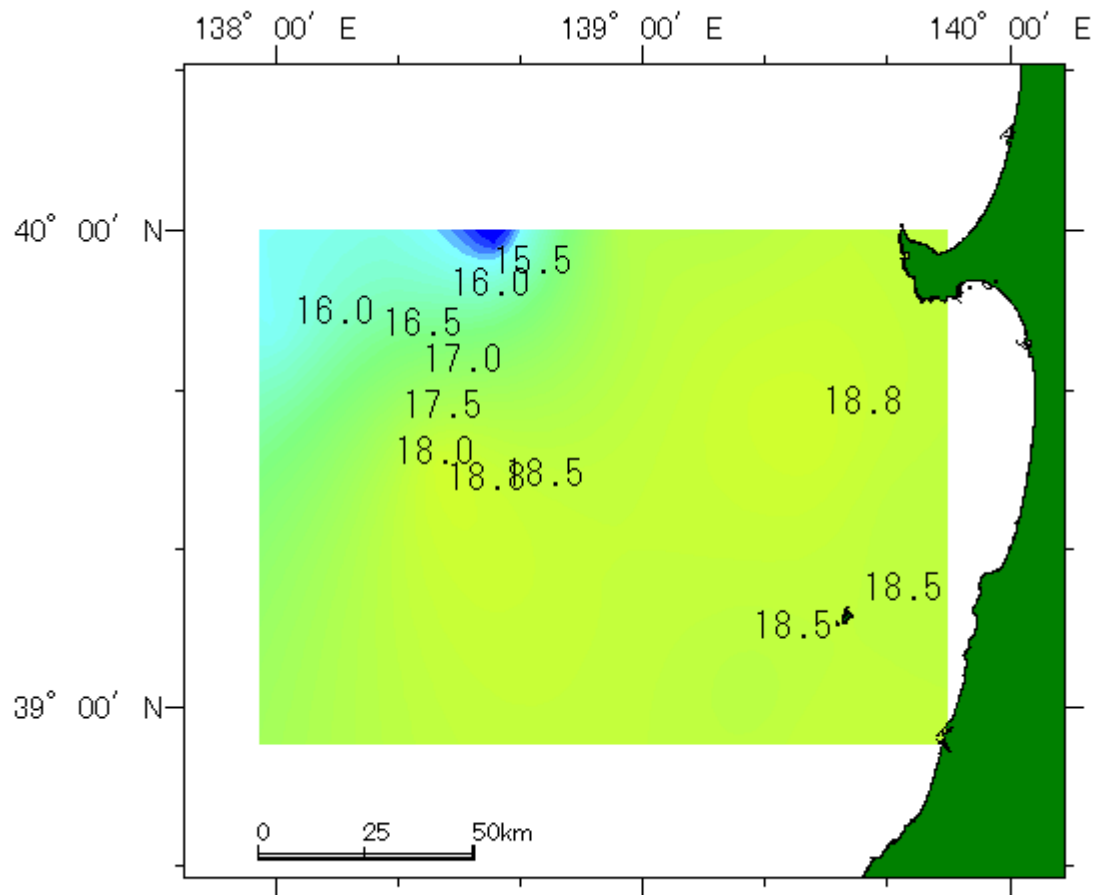


図2 表層の水温分布

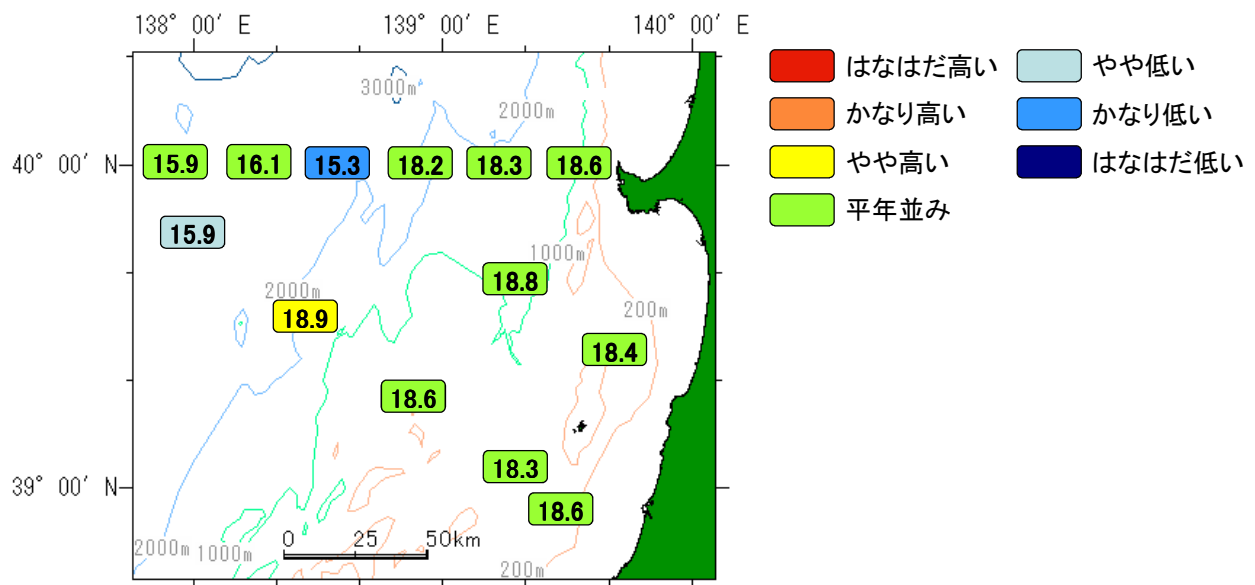


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

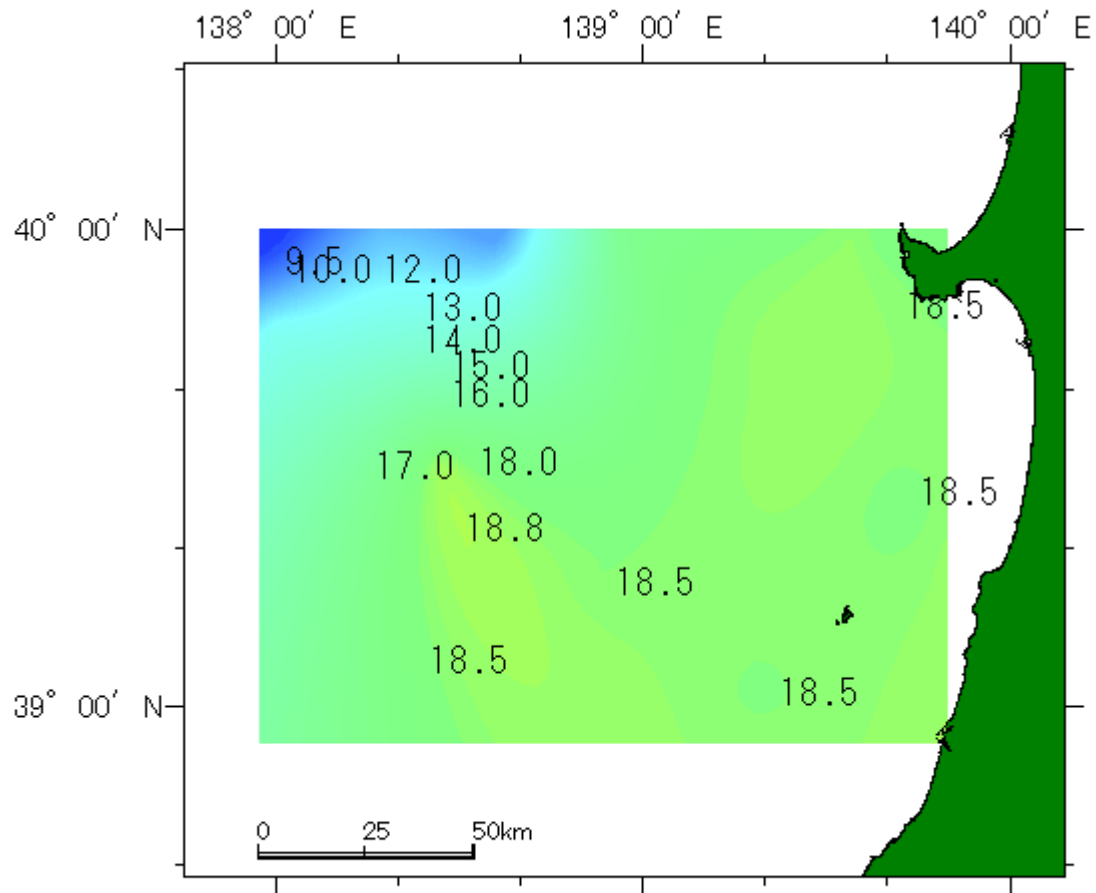


図4 水深50m層の水温分布

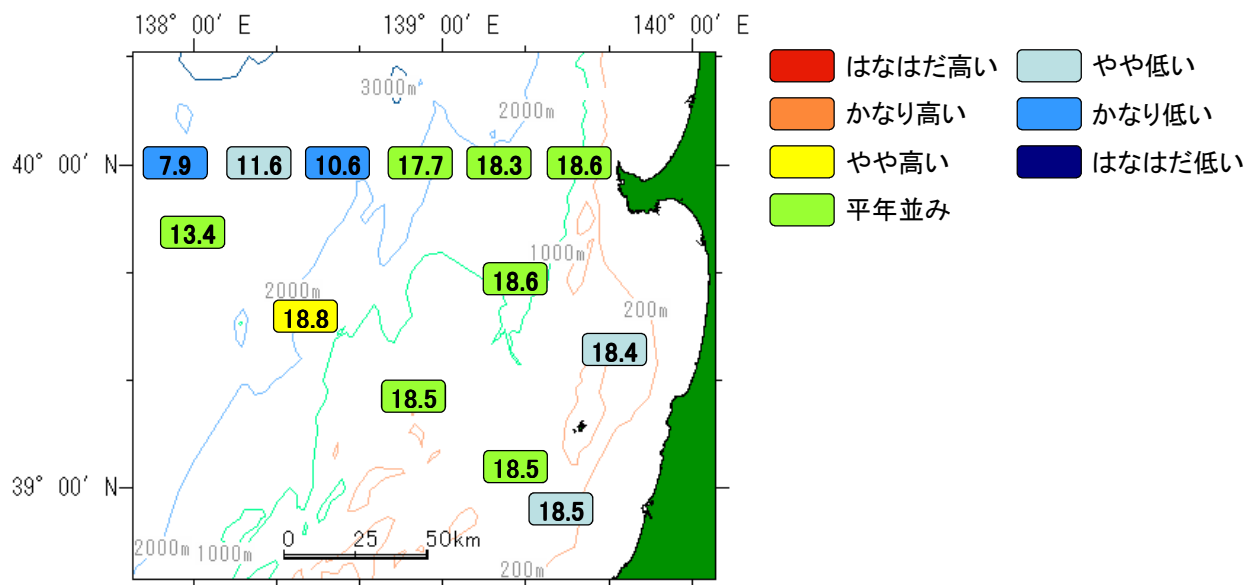


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

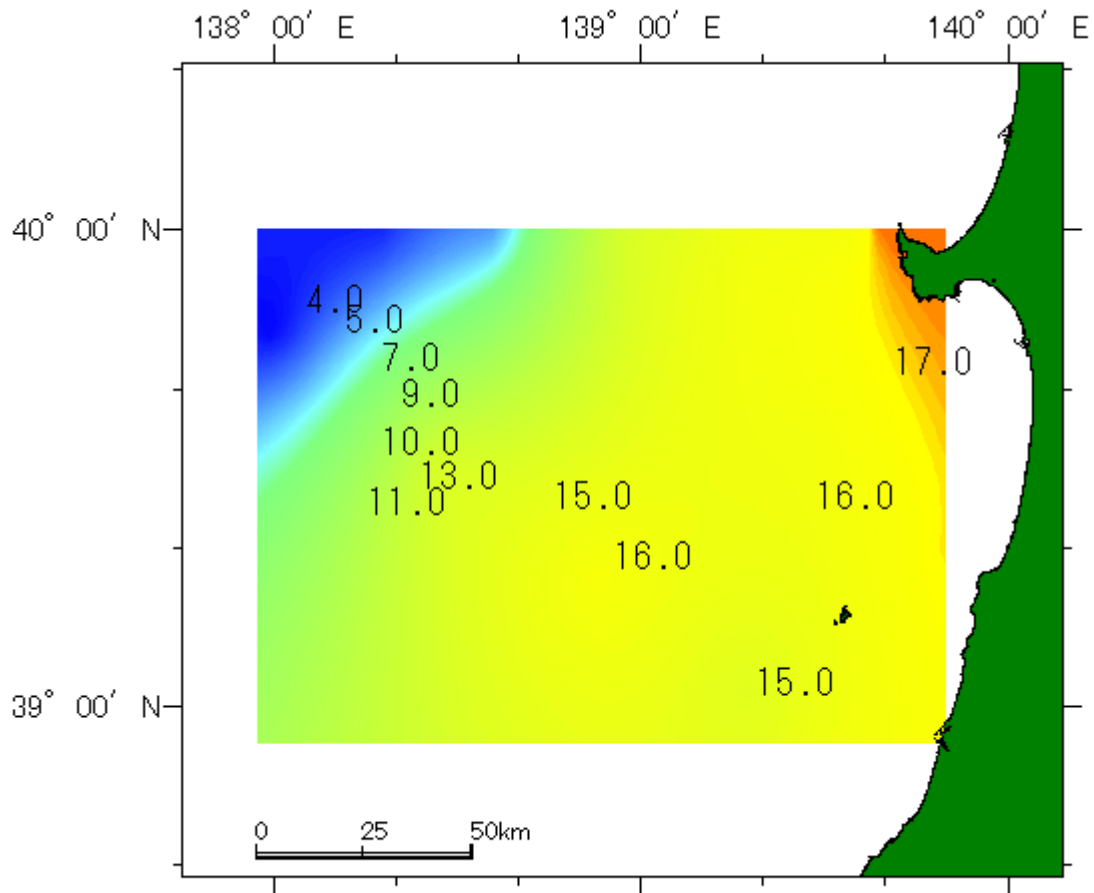


図6 水深100m層の水温分布

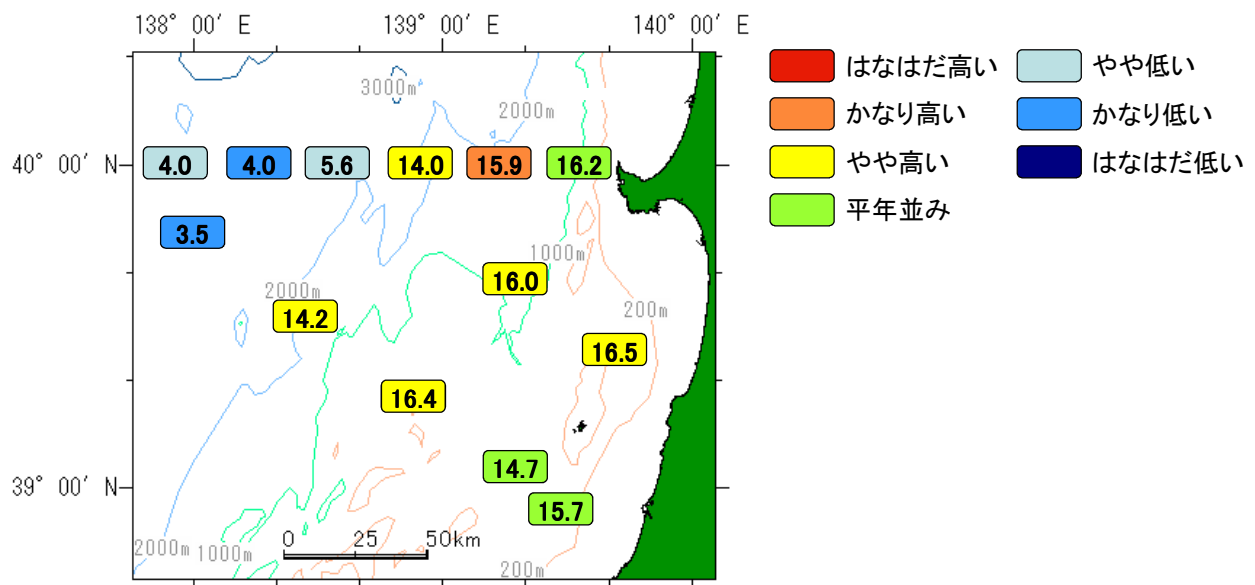


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

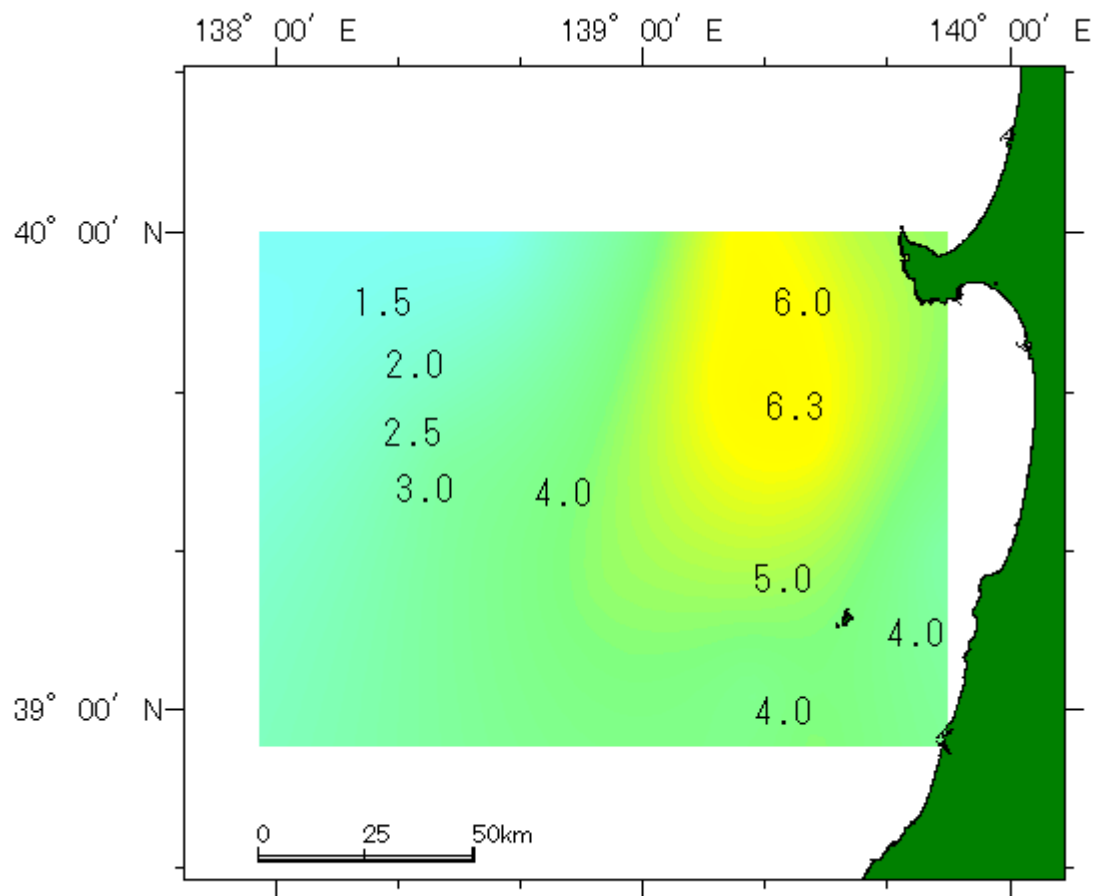


図8 水深200m層の水温分布

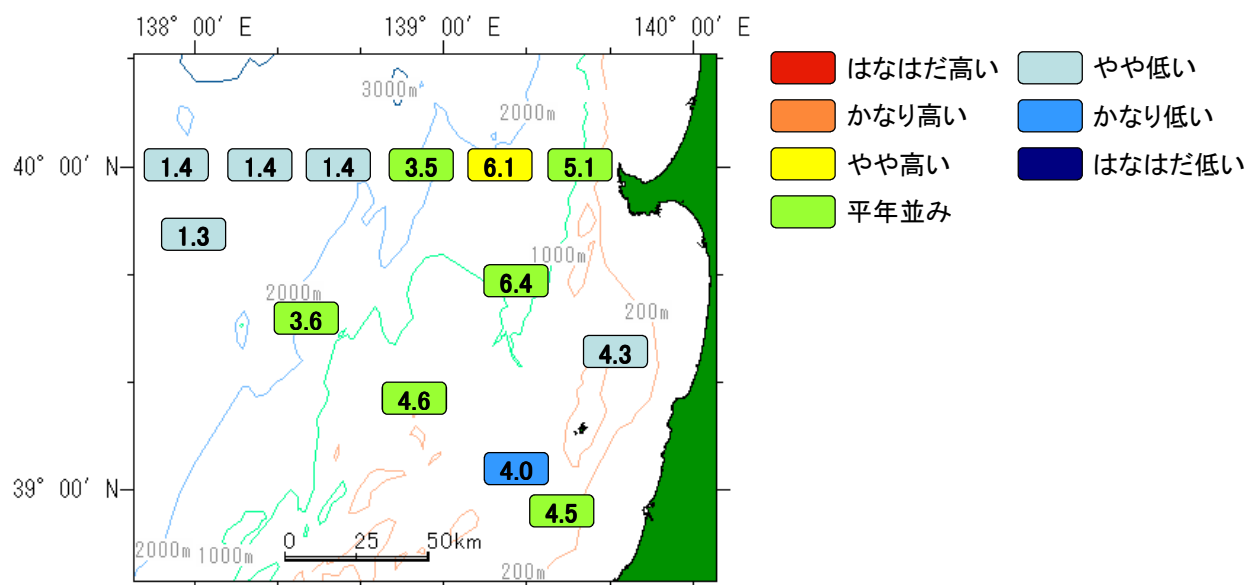


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

<300m層>

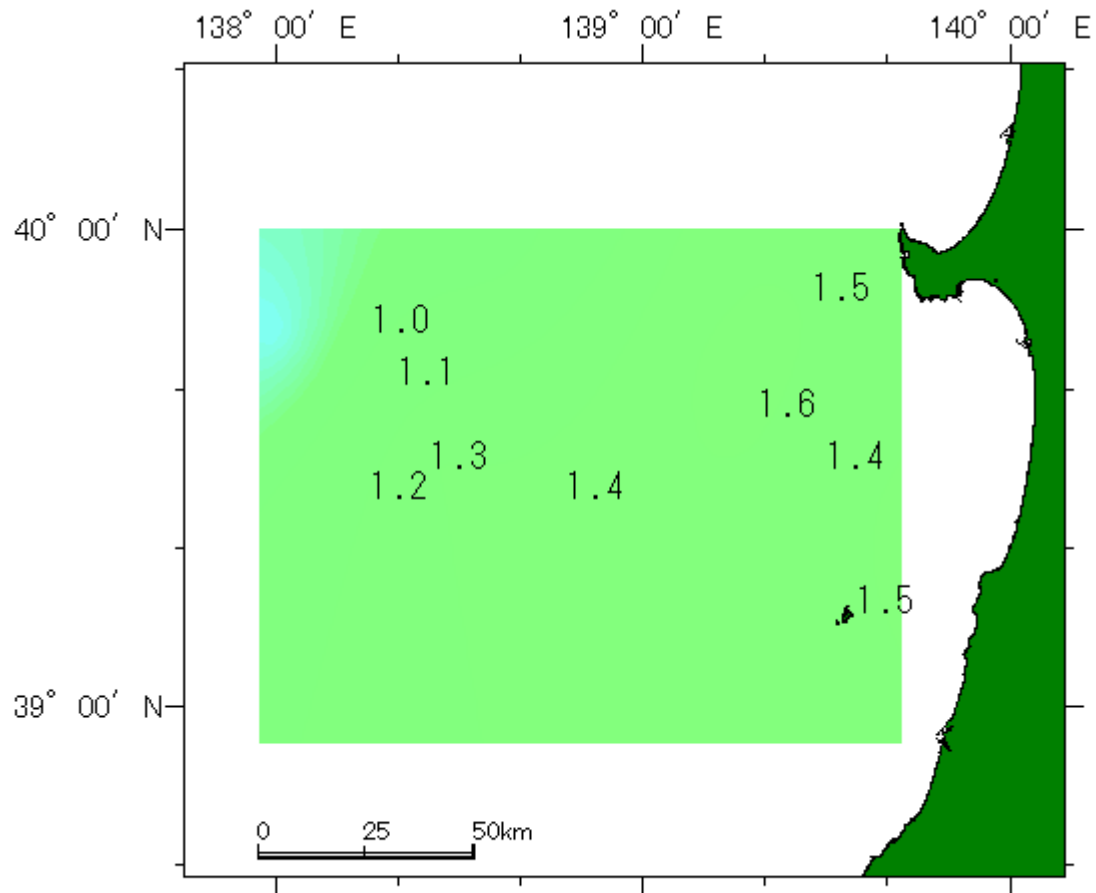


図10 水深300m層の水温分布

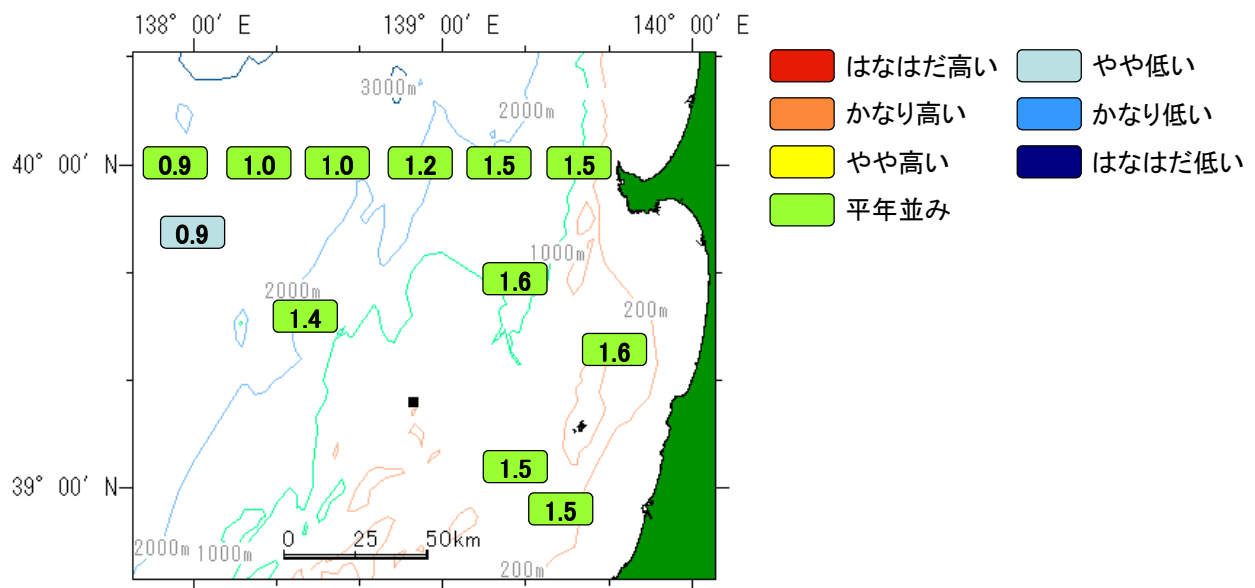


図11 水深300m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成28年3月)

漁業調査指導船「千秋丸」により3月4～5日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

表 層	「かなり低い」～「はなはだ高い」水温です。
50 m層	「平年並み」～「かなり高い」水温です。
100m層	「平年並み」～「かなり高い」水温です。
200m層	「平年並み」～「はなはだ高い」水温です。
300m層	「平年並み」～「はなはだ高い」水温です。

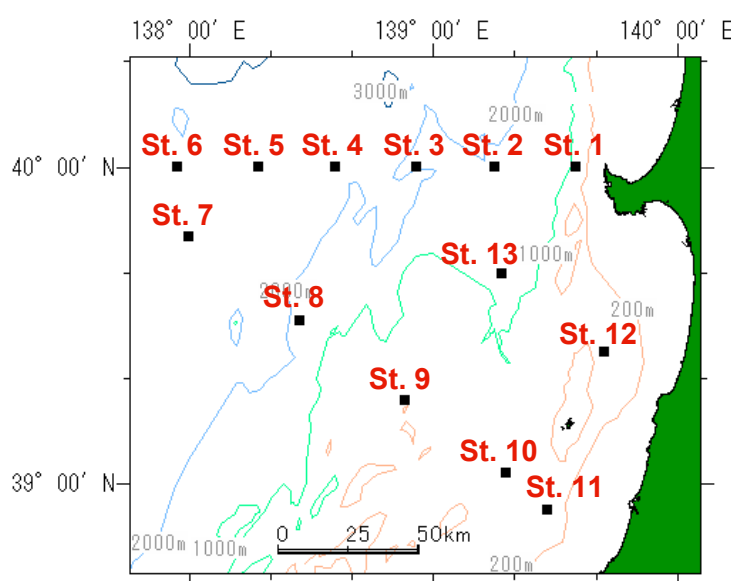


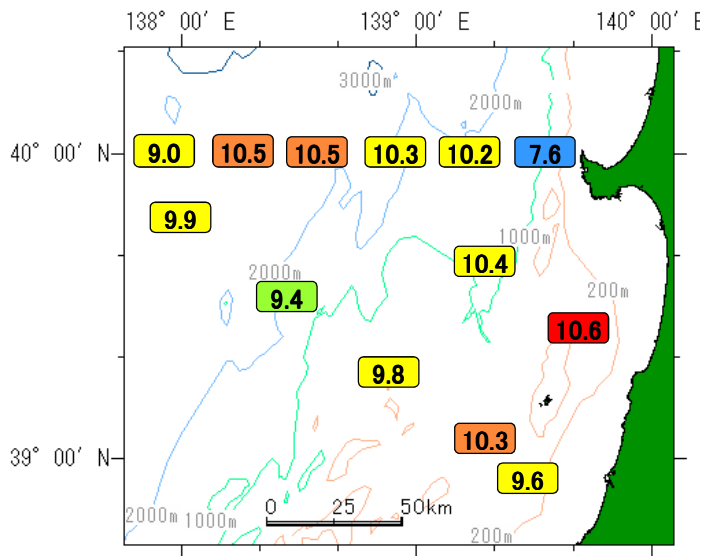
図1 調査船千秋丸による観測定点 (St. 1～13)

表1 水温の評価区分

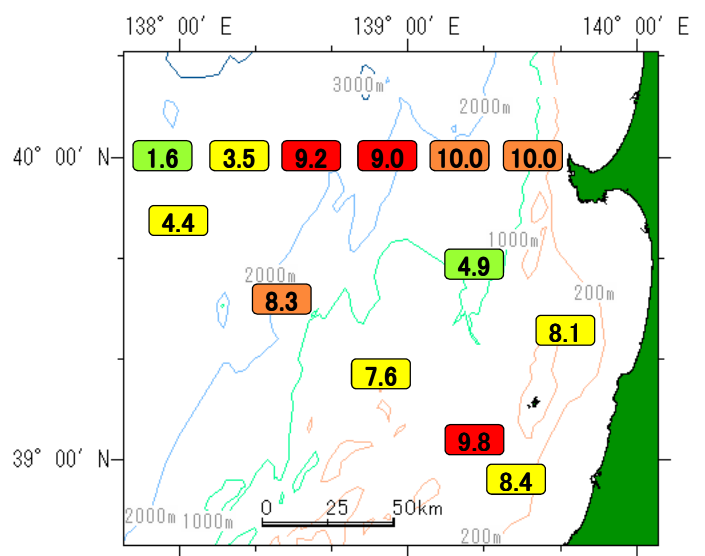
評価	偏差*	
はなはだ高い	+200以上	(出現確率約20年以上に1回)
かなり高い	+130以上200未満	(出現確率約10年に1回)
やや高い	+60以上130未満	(出現確率約4年に1回)
平年並み	±60未満	(出現確率約2年に1回)
やや低い	-60以上130未満	(出現確率約4年に1回)
かなり低い	-130以上200未満	(出現確率約10年に1回)
はなはだ低い	-200以下	(出現確率約20年以上に1回)

* 偏差 = (観測値 - 平年値) / 平年標準偏差 × 100
平年：1981～2010年の30年間

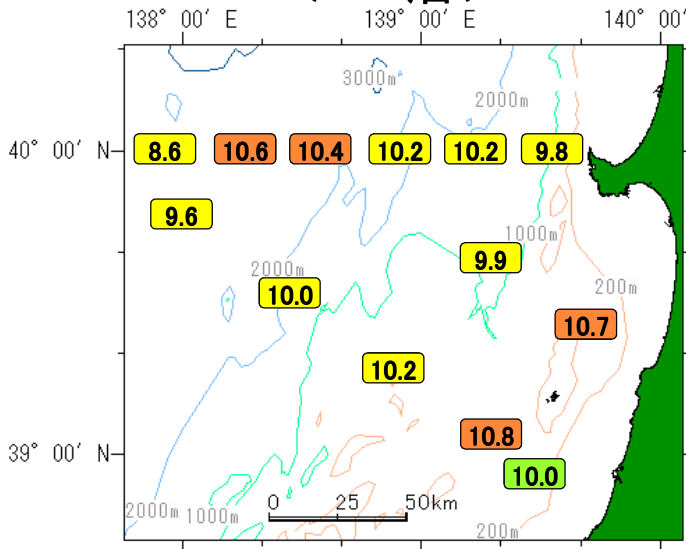
<表層>



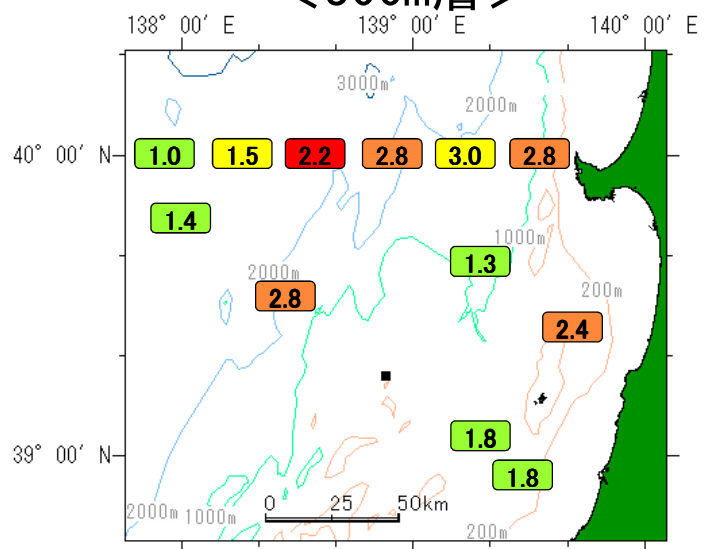
<200m層>



<50m層>



<300m層>



<100m層>

